

官報號外 昭和八年二月十七日

○第六十四回 衆議院議事速記録第十四號

| | |
|-------------------------------|-----------|
| 昭和八年二月十六日(木曜日) | 午後一時二十分開議 |
| 議事日程 第十三號 | 昭和八年二月十六日 |
| 第一都市計畫法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) | 第一讀會 |
| 第二右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第三權太地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第四右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第五船舶安全法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第六船舶職員法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第七右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第八米穀統制法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第九米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十一外國爲替管理法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十二右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十三助產師法案(野中徹也君外二名提出) | 第一讀會 |
| ○議長(秋田清君) 諸般ノ報告ヲ致セマ | |
| 斯木久米次郎君 | |
| 蔭山貞吉君 | |
| 青木雷三郎君 | |
| 多木久米次郎君 | |
| 蔭山貞吉君 | |
| 青木雷三郎君 | |
| 多木久米次郎君 | |
| 蔭山貞吉君 | |
| 栗原彦三郎君 | |
| 中村繼男君 | |
| 小山谷藏君 | |
| 中村繼男君 | |
| 加藤鯛一君 | |
| 伊禮肇君 | |
| 野田文一郎君 | |
| 佐藤義一君 | |
| 永田良吉君 | |
| 上原平太郎君 | |
| 中島知久平君 | |
| 原口初太郎君 | |
| 原物兵衛君 | |
| 土倉宗明君 | |
| 江藤源九郎君 | |
| 八角三郎君 | |
| 土井權大君 | |
| 内野辰次郎君 | |
| 宮脇長吉君 | |
| 森肇君 | |
| 佐保畢雄君 | |
| 向井倭雄君 | |
| 七尾水見間鐵道敷設ニ關スル建議案 | |
| 提出者 | |
| 中中國又ハ四國ニ國立理化學大學設置ニ關スル建議案 | |
| 提出者 | |
| 第二十五住宅組合法中改正法律案(船田中君提出) | |
| 提出者 | |
| 第二十六中央卸賣市場法中改正法律案(八田宗吉君外三名提出) | |
| 提出者 | |
| 二見三田間鐵道敷設速成ニ關スル建議案 | |

(書記官朗讀)
一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
(第二號)昭和七年度歲入歲出總豫算追加案
(特第二號)昭和七年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

提出者 吉田鞆明君 宮川一貫君
蔭山貞吉君 原口初太郎君
臺灣博多港開定期航路開始ニ關スル建議案
提出者 加藤知正君
信濃川漁梯改造ニ關スル建議案
提出者 増田義一君 原吉郎君
佐藤與一君 山田助作君
靈業指導員設置助成金下付ニ關スル建議案
提出者 加藤知正君
民間航空獎勵補助法制定ニ關スル建議案
提出者 楠原良吉君
上原平太郎君
中島知久平君
原口初太郎君
原物兵衛君
土倉宗明君
江藤源九郎君
八角三郎君
土井權大君
内野辰次郎君
宮脇長吉君
森肇君
佐保畢雄君
向井倭雄君
七尾水見間鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者
中中國又ハ四國ニ國立理化學大學設置ニ關スル建議案
提出者
第二十五住宅組合法中改正法律案(船田中君提出)
提出者
第二十六中央卸賣市場法中改正法律案(八田宗吉君外三名提出)
提出者
二見三田間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
提出者
木下成太郎君
兒玉右二君
(以上二月十四日提出)

競馬取締及改善ニ關スル質問主意書
提出者 本田 義成君

(以上二月十六日提出)

一一一五日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

ノ區域ニ拘ラズ都市計畫區域ヲ決定ス
ルコトヲ得

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣男爵山本達雄君登壇)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第三、
権太地方鐵道補助法中改正法律案ノ第一讀
會ヲ開キマス――拓務政務次官堤康次郎君

一去十四日齊藤内閣總理大臣ヨリ左ノ通發

令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

一一一五日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

○國務大臣(男爵山本達雄君)茲ニ議題ト
相成リマシタ都市計畫法中改正法律案ニ付
キマシテ、其提出理由ノ概略ヲ申上ゲマス、
都市計畫法ハ現在デハ勅令ヲ以テ指定セラ
レマシタ市ノミニ適用セラレテ居ルノアリ
リマスガ、都市計畫ヲ樹立スルコトハ、總
テノ市ヲ通ジテ其必要ガアリト考へマスノ
デ、市ニ對シマシテハ總テ本法ヲ適用スル
コト、致シタイト思フノデアリマス、又町
村デアリマシテモ、現ニ都市トシテノ體裁
ヲ備ヘ、或ハ將來都市トシテ發展スルコト
ガ明瞭ニ豫想セラレマスルモノニ付キマシ
テハ、矢張本法ヲ適用致シマシテ、都市計
畫ヲ樹立スルノ途ヲ拓クノ必要アリト考へ
ルノデアリマス、尙ホ都市計畫區域ハ、現
行法ニ於キマシテハ、總テ關係市町村及都
市計畫委員會ノ意見ヲ聽キマシタ上デ、內
閣ノ認可ヲ經テ決定致シテ居リマスガ、改
正案ニ於キマシテハ、此内閣ノ認可ヲ要セ
ザルコト、シ、且ツ市町村ノ區域ニ依ラザ
ル都市計畫區域ヲ決定スル場合ニ限り、關
係市町村等ノ意見ヲ聽キタル上決定スルコ
トニ改メマシテ、事務ノ簡捷ヲ圖ラントス
ル次第アリマス、以上ハ本法律案ノ要旨
デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラン
コトヲ希望致シマス

第六十四回帝國議會遞信省所管事務政府
委員被仰付

遞信省管船局長 淺野 平二

一一一五日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、
御許リ致スコトガゴザイマス、行政執行
法中改正法律案外十二件委員長及司法代書
人法中改正法律案外四件委員長ヨリ、ソレ
ゾレ本日本會議中、委員會ヲ開キタイトノ
申出ガアリマシタ、之ヲ許可スルニ御異議
ゴザイマセヌカ

○政府委員堤康次郎君登壇 第一讀會
第三 権太地方鐵道補助法中改正法律案
案(政府提出) 第一讀會

一一一四日衆議院規則第十五條但書ニ依リ
議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

一一一五日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

○議長(秋田清君) 只今議題トナリ
マシタ権太地方鐵道補助法中改正法律案
ノ提出ノ理由ヲ説明致シマス、現在権太
ニ於テ補助中ノ地方鐵道ハ、何レモ營業
ノ開始後日尙ホ淺ク、殊ニ近年經濟界ノ不
況ニ伴ヒマシテ、其營業成績未ダ良好好デ
ナイ有様デアリマシテ、將來人口ノ增加
及產業ノ發展ナドヲ考慮ニ入レテモ、尙ホ
當分獨立自營ノ域ニ達シ得ナイモノト認メ
ラレマスノデ、現行ヲ補助期間ノ經過後
モ尙ホ補助ヲ繼續スルノ必要ガアルノデア
リマス、仍テ此際右補助期間ノ限度十年ヲ
十五年ニ改正シ、以テ権太ニ於ケル地方鐵
道ノ健全ナル發展ヲ期シタイト存ジマシ
テ、本法律案ヲ提出シタ次第アリマス、
御審議ノ上御協賛アランコトヲ希望致シマ
ス

一去十四日齊藤内閣總理大臣ヨリ左ノ通發

令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

○上田孝吉君 本案ハ議長指名九名ノ委員
選舉ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマ
ス

○議長(秋田清君) 質疑ヲ許シマス――蔭
山貞吉君

一去十四日齊藤内閣總理大臣ヨリ左ノ通發

令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

○上田孝吉君 本案ハ議長指名九名ノ委員
選舉ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマ
ス

一去十四日衆議院規則第十五條但書ニ依リ
議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

○議長(秋田清君) 上田君ノ勤議ニ御異議
アリマセヌカ

一去十四日衆議院規則第十五條但書ニ依リ
議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

○議長(秋田清君) 日程第二、右議案ノ審
査ヲ付託スベキ委員ノ審査ヲ付託スベキ委員
ノ選舉

○議長(秋田清君) 質疑ヲ許シマス――蔭
山貞吉君

一去十四日齊藤内閣總理大臣ヨリ左ノ通發

令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

○上田孝吉君 本案ハ議長指名九名ノ委員
選舉ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマ
ス

一去十四日衆議院規則第十五條但書ニ依リ
議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

○議長(秋田清君) 上田君ノ勤議ニ御異議
アリマセヌカ

一去十四日衆議院規則第十五條但書ニ依リ
議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

四一

埼玉縣第一區
選出議員

高橋 義次君

尙ホ同地ニ在ル事業會社ノ關係ニ付テ御伺シタインデアリマス、此樺太鐵道株式會社ハ富士製紙及王子製紙ガ主ナル資本主デアリマス、又南樺太鐵道株式會社ハ、王子製紙ガ主ナル資本主ノヤウデアリマス、兩會社共ニ重役ハ關聯致シテ居リマシテ、會社子製紙及富士製紙、樺太工業、是等ノ會社ノ名目ハ達フケレドモ、兩會社ハ殆ド同一ト看做シテ宜サウデアリマスガ、而シテ樺太ニ於ケル事業會社ノ主ナルモノ、中、王子製紙及富士製紙、樺太工業、是等ノ會社ノ重役ハ、殆ド半數以上ハ此兩鐵道會社ト兼ネテ居ルヤウニ思フノデアリマス、堵テ是等ノ事業會社ガ、最初此鐵道ヲ建設サレタノハ、所謂自己ノ營業ノ爲ニ此兩鐵道ヲ建設サレタ如ク考ヘラレルノデアリマス、即チ此鐵道會社ノ創設以來ノ利益ヲ見ルト云フト、大體ニ於テ最初八年八朱、次デ不良ト雖モ年五朱ノ配當ヲ致シテ居ラレム、此點ニ付テ政府ハ左様御認メニナッテ居ルヤウデアリマスガ、併ナガラ是ハ從來決算委員會ニ於テモ非常開問題ニナリマシタ如ク、此森林ノ伐採ト相俟チマシテ、甚ダ面白クナイ點ガ多々アルヤウニ考ヘルノデアリマス、此獨立自營ノ域ニ達セナイト云フ點、之ヲ如何ニ御考ヘニナッテ居ルカ、殊ニ此兩會社ト三製紙會社ノ關係ガ、果シテ同一ノモノデアルナラバ、從來ノ製紙會社ノ事業ノ利益ト云フモノハ、鐵道ノ方ニハ損失ハアルケレドモ、製紙會社ノ利益ガ莫大ニアタト云フコトヲ考ヘラレルノデアリマス

第二ニ、昨年來調查致シマシタ様子ニ依リマスト、買收ヲシテ貰ヒタイト云フ所ノ會社ノ希望デアタヤウデアリマス、當時色々樺太廳ノ鐵道局事務所ノ方ニ問合セマシタ所ガ、矢張買收ノ希望ガアル、其買收ノ要領ヲ見マスルト、買收シタ方ガ補助ヲ繼續スルヨリハ宜シト云フ見地カラ、或ハ買收ヲ變更シテ、樺太工業、是等ノ會社ノ名目ハ達フケレドモ、兩會社ハ殆ド同一ト看做シテ宜サウデアリマスガ、而シテ樺太ニ於ケル事業會社ノ主ナルモノ、中、王子製紙及富士製紙、樺太工業、是等ノ會社ノ重役ハ、殆ド半數以上ハ此兩鐵道會社ト兼ネテ居ルヤウニ思フノデアリマス、堵テ是等ノ事業會社ガ、最初此鐵道ヲ建設サレタノハ、所謂自己ノ營業ノ爲ニ此兩鐵道ヲ建設サレタ如ク考ヘラレルノデアリマス、即チ此鐵道會社ノ創設以來ノ利益ヲ見ルト云フト、大體ニ於テ最初八年八朱、次デ不良ト雖モ年五朱ノ配當ヲ致シテ居ラレム、此點ニ付テ政府ハ左様御認メニナッテ居ルヤウデアリマスガ、併ナガラ是ハ從來決算委員會ニ於テモ非常開問題ニナリマシタ如ク、此森林ノ伐採ト相俟チマシテ、甚ダ面白クナイ點ガ多々アルヤウニ考ヘルノデアリマス、此獨立自營ノ域ニ達セナイト云フ點、之ヲ如何ニ御考ヘニナッテ居ルカ、殊ニ此兩會社ト三製紙會社ノ關係ガ、果シテ同一ノモノデアルナラバ、從來ノ製紙會社ノ事業ノ利益ト云フモノハ、鐵道ノ方ニハ損失ハアルケレドモ、製紙會社ノ利益ガ莫大ニアタト云フコトヲ考ヘラレルノデアリマス

イ、例ヘバ現在ノ補助額ハ年百十万乃至二十万圓每年補助ヲシテ居ル、ソレヲヤルヨリハ、寧ロ買收シタナラバ百万圓以下ニ減ズル、斯ウ云フコトデアリマシタガ、鐵道ノ買收ト云フモノガ非常ニムヅカシクナックト云フ見地カラ、或ハ買收ヲ變更シテ、樺太ニ於ケル事業會社ノ主ナルモノ、中、王子製紙及富士製紙、樺太工業、是等ノ會社所謂補助ト云フモノニ變更サレタノデハナカラウカ、此點ヲ御伺シタインデアリマス

尙ホ次ニハ樺太鐵道會社ハ、最初ハ敷香ト云フ方面マデ延長スルベク出願ヲシテアル筈デアリマス、然ルニ現在ハマダ其手前ニ達シテ居ラナイ、ソレデ此補助ヲ與ヘタナラバ、更ニ敷香マデ延長スルノカドウカ、此點デアリマス、進ンデハ或ハ露西亞ノ國境マデ延長スル意思ガアルカ、兩會社ノ爲ニ、又製紙會社ノ爲ニハ、或ハ一定ノ製紙事業ノ利益ヲ得レバ宜シタノデアリマセウガ、眞ニ地方ノ交通開發ノ爲ニハ、ドウシテモ最初ノ出願通リニ延長サセル必要ガアルノデアリマス、又最近敷香三人組會社ヲ設ケルト云フヤウナコトデ、或ハ其點ガ如何ニナッテ居リマセウカ、尙ホ彼ノ地方ノ者ガ非常ニヤカマシク申シテ居リマスルノハ、又アチラニ在官サレタ各位ガ色々申シテ居ラレルノハ、製紙會社或ハ鐵道會社、ソレ等ノ會社ハ、自己ノ利益ノミヲ計フテ、地方民ノ利益ヲ計ラナイ、例ヘバ大泊ノ市街ノ如キハ非常ナ疲弊ヲシテ居ル、現在戸敷數が五千ノ所ヲ、千戸モ今閉鎖ヲシテ居ル、其開發ヲスル時ニハ、政府ニ莫大ナル補助ヲ要求シテ置キナガラ、今日既ニ南樺太鐵道ヶ爾ノ如キハ非常ナ疲弊ヲシテ居ル、現在戸敷數が五千ノ所ヲ、千戸モ今閉鎖ヲシテ居ルヤウニ、當事者ヲ呼ビマシテ、交渉ヲ樺太長官ヲシテ致サセテ居リマス、ソコデ木材拂メテ置キタトイト存ジマス

(政府委員堤康次郎君登壇)

○政府委員(堤康次郎君) 只今ノ蔭山君ノ御質疑ニ對シマシテ御答ヲ致シマス、第一ノ點ハ、樺太ノ此鐵道ノ大株主ハ、何レモ製紙會社デアル、是ハ事業ノ目的ノ爲ニ敷設シタノデアルカラ、補助ノ必要ガナインチナクテモ宜イト云フヤウナ論點デアルト記憶シタノデアリマス、事業ノ目的ノミニ敷設シタモノデアリマスルナラバ、是ハ補助ヲシテヤナイカト云フヤウナ論點デアルト記憶シタノデアリマス、事業ノ目的ノミニ敷設シタモノデアルカラ、補助ノ必要ガナインチナクテモ宜イト考ヘラレマス、併ナガラ此樺太ノ鐵道ト申シマスルト、樺太鐵道ト南樺太鐵道ノ二ツデアリマスガ、是ハ孰レモノ各方面で聞イタノデアリマス、又軍事及シテソレフ閉鎖スル、サウシテ樺太ノ住民ヲ非常ニ苦シメテ居ルト云フコトヲ、樺太ノ幹線ニ當シテ居リマシテ、事業上ノ木材ノ運搬モ致シマスルケレドモ、併ナガラモ、十分貢獻ヲ致シテ居ルノデアリマスルシテ、寧ロ樺太全體ノ產業ノ開發、交通ノ利便ト云フコトガ、主タル使命ノヤウナ狀態

ドン、移民ヲ送リマシテ、又會社ノ事業ノ發展ヲ援ケルト云フコトハ、是ハ無理カラヌコトデアリマスルガ、今日ノ如ク財政ノ疲弊困憊シテ居ル今日、而モ此匡救ノ方法モ十分デナイ今日ニ於キマシテ、果シテ斯様ナ大會社、餘り缺損デナイ所ノ大會社ヲ補助スルト云フコト、殊ニ十年ノ日子ト云フコトハ、最初カラ十年ハ補助ヲ受ケルガ、十年以後ハ受ケナイト云フ、チャントソレダケノ規定ガ出來テ居ル、ソレヲ更ニ五年ヲ延長スルト云フコトニナルト、國庫ノ損失ハ六百万圓以上ニナルノデアリマス、此點ニ付キマシテ拓務當局ノ御考ヲ承リタイノデアリマス、農村ノ疲弊ト云フコト、斯様ナ事業家ヲ援助スルト云フコトト、此處ヲ能ク考ヘテ戴キタインデアリマス、尙ホ細カイ色々ノ調査モアリマスガ、是ハ委員會ニ譲リマシテ、此程度ニ止メテ置キタトイト存ジマス

(政府委員堤康次郎君登壇)

○政府委員(堤康次郎君) 只今ノ蔭山君ノ御質疑ニ對シマシテ御答ヲ致シマス、第一ノ點ハ、樺太ノ此鐵道ノ大株主ハ、何レモ製紙會社デアル、是ハ事業ノ目的ノ爲ニ敷設シタノデアルカラ、補助ノ必要ガナインチナクテモ宜イト云フヤウナ論點デアルト記憶シタノデアリマス、事業ノ目的ノミニ敷設シタモノデアルカラ、補助ノ必要ガナインチナクテモ宜イト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ工場ヲ閉鎖致シテ居リマスルノデ、非常ニ疲弊ヲ致シテ居リマス、ソコデ木材拂行クヨウニシテ、何トカ此工場ヲ開始サセルヤウニ、當事者ヲ呼ビマシテ、交渉ヲ樺太長官ヲシテ致サセテ居ルノデアリマス、現在蔭山君ノ御述ベニナリマシタ通り、大泊ハ工場ヲ閉鎖致シテ居リマスルノデ、非常ニ疲弊ヲ致シテ居リマス、ソコデ木材拂行クヨウニシテ、何トカ此工場ヲ開始サセルヤウニ、當事者ヲ呼ビマシテ、交渉ヲ樺太長官ヲシテ致サセテ居ルノデアリマス、現在蔭山君ノ御述ベニナリマシタ通り、大泊ハ工場ヲ閉鎖致シテ居リマスルノデ、非常ニ疲弊ヲ致シテ居リマス、ソコデ木材拂行クヨウニシテ、何トカ此工場ヲ開始サセルヤウニ、當事者ヲ呼ビマシテ、交渉ヲ樺太長官ヲシテ致サセテ居ルノデアリマス、現在蔭山君ノ御述ベニナリマシタ通り、大泊ハ工場ヲ閉鎖致シテ居リマスルノデ、

ノ常ニ疲弊ヲ致シテ居リマス、ソコデ木材拂行クヨウニシテ、何トカ此工場ヲ開始サセルヤウニ、當事者ヲ呼ビマシテ、交渉ヲ樺太長官ヲシテ致サセテ居ルノデアリマス、現在蔭山君ノ御述ベニナリマシタ通り、大泊ハ工場ヲ閉鎖致シテ居リマスルノデ、非常ニ疲弊ヲ致シテ居リマス、ソコデ木材拂行クヨウニシテ、何トカ此工場ヲ開始サセルヤウニ、當事者ヲ呼ビマシテ、交渉ヲ樺太長官ヲシテ致サセテ居ルノデアリマス、現在蔭山君ノ御述ベニナリマシタ通り、大泊ハ工場ヲ閉鎖致シテ居リマスルノデ、

ガ昭和三年ノ十一月デアリマシテ、僅ニ六年
簡年ヨリ經テ居ナイノアリマス、朝鮮

モ設立登記ノ日カラ十五年ト云フコトニ
ナツテ居リマスガ、是ハ最初十年デアタモ
ノヲ、五年延長シタノアリマス、北海

道ハ營業開始ノ日カラ、最初カラ十五年
ト云フコトニナツテ居ルノアリマスカラ
ラ、是ノ振合カラ見マシテモ、樺太ハ
僅ニ六年デ期限ガ切レタカラ、更ニ五年

ノ期間ヲ延長スルト云フコトハ、無理モ
ナイ所デアラウト考ヘタノアリマス、
ソレカラ御質問ノ内ニ、八分ノ補助ト云フ
コトガ多過ギハセヌカト云フヤウナ意味モ

含ンデ居タノアリマスガ、是ハ樺太地方
鐵道ノ補助法ノ第五條ニ、補助金ノ年額
ハ最高百二十万圓トスト、斯ウ云フ制限ガ
附ケテアリマスルノデ、現在ハ百二十万圓
ノ補助ノ範圍ニ於キマシテハ、樺太鐵道ハ
昭和六年、七年、此二年度ハ五分ノ配當ヨ
リモ出來ナカツタノアリマス、ソレカラ南

樺太鐵道ハ、昭和六年ガ平均七分五厘、昭
和七年ガ平均五分八厘ヨリ配當ハ出來テ居
リマセヌ、尤モ此資本ヲ出シテ居リマスル
ノハ、主トシテ製紙會社デアリマスガ、樺太
全體ノ産業開發及交通ノ便利ニ「サービス」
シテ居ルノアリマスカラ、此位補助ノ期
間ヲ延長スルコトハ妥當ナコトデアルト、
政府ハ考ヘテ居ルノアリマス、尙ホ詳細
ハ委員會ニ於テ御説明致シタイト存ジマス

(拍手) ○議長(秋田清君) 加藤鯛一君
(加藤鯛一君登壇) ○加藤鯛一君
政府ハ樺太ニ於ケル地方鐵道ハ、未ダ獨立自營ノ域ニ達セザルト云フ
理由ヲ以テ、補助期間ノ延長ヲスルト云フ
改正法律案ヲ御出シニナリマシタガ、然ラ
ベ他ノ植民地ニ對スル御考ハ、ドウ云フ御
考ヲ有テ御出デニナルノアリマスカ、例
へバ朝鮮鐵道ノ如キ、近々ニ此補助機關ガ
切レルコトニナツテ居リマス、之ニ對シマ

シテ、總理大臣ノ齋藤サンハ、以前朝鮮總

督時代ニ於テ、是ハ延長スルモノデアルト

云フコトノ意思ヲ表示サレテ、會社ノ重役

ニ此意思ヲ通ジテ居ラレルト聞イテ居リマ

スガ、果シテ左様ナコトガアタカドウカ、
又之ニ對シマシテ補助期間ヲ延長スル意思

ヲ、政府ハ有ツテ御出デニナリマスカ否ヤ、若

シ之ヲ延長スル意思ガ政府ニアリマスルナ
ラバ、此議會ニ御提案ニナリマセヌト間ニ
合ハナイノアリマス、政府ハ次ノ議會ニ
於テモ間ニ合フト云フ御考カモ知レマセヌ
ガ、若シ次ノ議會ニ於テ、解散等ノ場合ガ
アリマシタ時ニハ、間ニ合ハヌコトニナルノデアリマスガ、此議會ニ完全ヲ期スル爲
ニ提案セントスル意思ガアリヤ否ヤ、又朝
鮮鐵道ハ御承知ノ通りニ、十年一日ノ如ク、
過去ニ於キマシテハ少シモ進歩改善ノ見ル
ベキモノガナインデアリマス、此便々グラ
リト致シマシテ、發達改善ノ見ルベキモノ
ガナイニモ拘ラズ、政府ハ年々莫大ナル補
助ヲ與ヘテ居リマスルガ、尙ホ今後モ、少
シモ進歩改善ノ見ルベキモノガナイ此鐵道
ニ對シマシテ、從來同様ナ方法デ補助ヲ與
ヘントサレルノアリマスカ、此鐵道ノ發
達改善ノ爲ニハ、何等カノ指導方針ヲ有ツテ
御出デニナリマスカ、若シ政府ニ其指導方
針ガアリマスルナラバ、併セテ此機會ニ承
認ガアリマス、併セテ此機會ニ承認ガアリ
マセヌ、
(拍手) ○議長(秋田清君) 質疑ハ終局致シマシタ
ノ程第四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員
ノ選舉

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員

ノ選舉

○上田孝吉君 日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員

ノ選舉

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議

アリマセヌカ

(政府委員堤康次郎君登壇)
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、
ニ對シテ御答致シマス、樺太ハ五年延長ス

ル、朝鮮ニ對シテハドウ云フ考ヲ有ツテ居

ルカ、斯ウ云フ御尋ニアリマス、惡ラク朝

鮮モ樺太モ、同ジク植民地アル以上ハ、

當局ト致シマシテハ、加藤君ノ其趣旨ニ依

テ本案ヲ提出致シタノアリマス、朝鮮モ

最初十年ト云フコトニナツテ居リマス、

レドモ、途中デ五年延長致シマシテ、十五
年トナツテ居ルノアリマス、樺太モ十年デ
アリマスノヲ近ク期間方滿了致シマスノデ、
同様ニ十五年ト致シタイト考ヘテ、御協賛
ヲ仰イダヤウナ次第アリマス、尙ホ朝鮮
ノ鐵道ニ將來モ更ニ補助スルカ、セヌカ、
又補助ヲスルトスレバ、如何ナル指導方針
ヲ以テ、經營爲サシムベキカト云フ御質問
デアリマスガ、是ハ本議會ニ提案致シマセ
ヌデモ、次ノ議會ニモマダ間ニ合フトノデア
リマスカラ……(加藤鯛一君)解散ガアレバ
間ニ合ハナイデハナイカ(ト呼フ)只今慎重
ニ考慮ヲ致シテ居ルノアリマス、指導方
針ト云フノハ、言フマデモナク眞面目ニ
冗費ヲ節約致シマシテ、產業ノ開發、交通
ノ便利ト云フ趣旨ニ副ハシムルヤウニト云
フノガ、是ガ當局トシテノ指導方針デアリ
マス、尙ホ詳細ハ委員會ニ於テ申上ガタイ
ト思ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ハ終局致シマシタ
ノ程第四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員
ノ選舉

第一條 日本船舶ハ本法ニ依リ其ノ堪航

性ヲ保持シ且人命ノ安全ヲ保持スルニ

必要ナル施設ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ航

行ノ用ニ供スルコトヲ得ズ

第二條 船舶ハ左ニ掲タル事項ニ付命令

ノ定ムル所ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一 船體

二 機關

三 鮑裝

四 排水設備

五 操舵、繫船及揚錨ノ設備

六 救命及消防ノ設備

七 居住設備

八 衛生設備

九 航海用具

十 一二 雷氣設備

十三 前各號ノ外主務大臣ニ於テ特ニ

定ムル事項

十一 前項ノ規定ハ左ニ掲タル船舶ニハ之ヲ

十二 適用セズ

一 總噸數五頓未滿ノ船舶

二 機器ヲ以テ運轉スル舟其ノ他主務

大臣ニ於テ特ニ定ムル船舶

第三條 遠洋區域ヲ航行スル船舶又ハ近

海區域ヲ航行スル總噸數百五十噸以上

ノ船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ滿載吃

水線ヲ標示スルコトヲ要ス但シ漁獵、

曳船、海難救助、浚渫又ハ測量ニノミ

使用スル船舶其ノ他主務大臣ニ於テ特

ニ滿載吃水線ヲ標示スル必要ナシト認

ムル船舶ハ此ノ限ニ在ラズ

六

無線電信ノ施設ヲ要スル船舶ヲ其ノ施設ナクシテ航行ノ用ニ供シタルトキ

七 中間検査ヲ受クベキ場合ニ於テ之ヲ受ケズシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタルトキ

八 前各號ノ外船舶検査證書ニ記載シタル條件ニ違反シテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シ又ハ特殊船検査證書ニ記載シタル條件ニ違反シテ船舶ヲ特殊ノ用途ニ使用シタルトキ

九 管海官廳ノ許可ヲ受ケズシテ検査ヲ受ケタル事項ニ變更ヲ爲シ又ハ其ノ事項ニ變更アリタルニ拘ラズ適當ノ措置ヲ爲サズシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタルトキ

第十條 詐偽其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ第九條 ニ掲タル證書ヲ受ケタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處

第十一條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 船舶所有者又ハ船長第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條 船舶乗組員虛偽ノ申立ヲ爲シ管海官廳ヲシテ第十三條ノ規定ニ依ル調査ヲ爲サジメタルトキハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條 船級協會ノ職員第八條ニ掲タル船舶ニ付第二條第一項第一號乃至第五號、第十號乃至第十二號ニ掲タル船舶事項又ハ満載吃水線ノ検査ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サジタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處

第三十條 本法施行ノ期日ハ第二條第一項第十一號ニ關スル規定、同條同項第十二號ニ關スル規定、第二十七條ノ規定並ニ他ノ一般規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 船舶検査法、船舶滿載吃水線法、船舶無線電信施設法及明治六年千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條 第二條第一項ノ規定ハ左ニ掲タル船舶ニハ當分ノ内之ヲ適用セズ
一 總噸數二十噸未滿ノ帆船
二 總噸數二十噸未滿ノ漁船
三 平水區域ノミヲ航行スル帆船

第三十三條 船舶滿載吃水線法ニ依リ滿載吃水線ノ標示ヲ要セザリシ船舶ニシテ本法ニ依リ其ノ標示ヲ要スルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ滿載吃水線ニ關スル検査ヲ受クル迄之ヲ標示セザルコトヲ得

第三十四條 本法施行前ニ生ジタル事項ニ付テハ仍舊法ニ依ル但シ船級協會ノ認定其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條 船舶検査法ニ依リ船舶検査證書若ハ假證書ヲ受有スル船舶又ハ之ヲ受有セズシテ航行ノ用ニ供スル船舶ニハ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至ル迄船舶検査、滿載吃水線及無線電信施設ニ關シ仍舊法ニ依ル

一 航行期間満了ノ爲船舶検査法ニ依リ検査ヲ受クベキトキ
二 船舶検査法ニ依リ船舶検査證書又ハ假證書ヲ受有セズシテ航行ノ用ニ供シ得ザルニ至リタルトキ
三 船舶滿載吃水線法ニ依リ滿載吃水線ノ指定ヲ受クベキトキ

第三十六條 前條ノ船舶同條各號ノ一二ノ施設ナクシテ航行ノ用ニ供シタルトキハ船舶検査ニ關シ賄賂ハ命令ノ定ムル所ニ依リ検査ヲ受クベシ前項ノ検査ニ合格シタル船舶ニハ船舶検査證書ヲ交付ス但シ其ノ有效期間ハ四年以内ニ於テ管海官廳ノ定メタル期間トス

第三十七條 他ノ法令中航路定限、遠洋航路、近海航路、沿海航路又ハ平水航路トアルハ各之ヲ航行區域、遠洋區域、近海區域、沿海區域又ハ平水區域トス船舶職員法中改正法律案

第三十八條 本法施行ノ期日ハ第二條第一項但書ヲ左ノ如ク改ム
但シ船舶安全法第二條第一項ノ規定ヲ適用セサル船舶ハ此ノ限ニ在ラス
第八條第一項中「船舶貨貸借」ヲ「船舶貸借」ニ、「質借人」ヲ「船舶借入人」ニ改ム
第九條第二項中「質借人」ヲ「船舶借入人」ニ改ム
第九條ノ二中「船舶検査法第十七條ニ掲タル外國船舶」ヲ「日本船舶ニ非サル船舶ニシテ船舶安全法第十四條各號ニ掲タルモノ」ニ改ム
第九條ノ三中「又ハ臺灣總督」ヲ削ル
第九條ノ四 地方長官ハ船舶安全法第二條第一項ノ規定ヲ適用セサル船舶ニ於テ船舶職員ニ該當スル職務ヲ執ル者ノ資格ニ關シ遞信大臣ノ認可ヲ受ケ必要ナル規則ヲ設クルコトヲ得

第一號表(其ノ一)及(其ノ二)中「航路」ヲ「航行區域」ニ、「平水航路」ヲ「平水區域」ニ、「沿海航路」ヲ「沿海區域」ニ、「近海航路第一區」ヲ「近海區域」ニ、「遠洋航路」又ハ「近海航路第二區」ヲ「遠洋區域」ニ改ム
第一號表(其ノ一)遠洋航路又ハ近海航路

先ノ法律ニ關シマシテモ、此法律ノ機能ヲ

不可能ナラシメ、更ニ輸入船舶ノ制限ヲス
ル、斯ウ云フヤウナ、事實ノ一面ニハ問題

ガ潛ンデ居ルト世間デハ言ハル、ノデアリ

マス、ドウ云フ問顎ガ潛ンデ居ルカト言ヘ

バ、外國ニ安イ船ガアル、國家ノ爲ニハ輸

入シタ方ガ宜イノダガ、ソレガ入ツテ來ル

ト船價ガ下ル、船價ガ下レバ、此船ニ融

通シテ居る銀行業者ガ困ル、政府ハ是等金

融業者ノ壓迫ニ山邉ヲテ、肚ノ中デハ成程

船舶輸入ノ制限ヲ撤廢シテ、海運市場ヲ確

保シ、海員ノ失業者ヲ救濟シタ方ガ宜イ

モダガ、金融業者ノ此壓迫ノ爲ニ、心ニ

モナク船舶ノ輸入ヲ制限セントスルヤウナ

ニ斯ウ云フ暗イ噂ガ立ツヤウデアツハ、斷

ジテ許スベカラザルコトアリマスカラ、

私ハ此法案ニ關聯シテ、今申上ゲタ、殊ニ

日本ニ全船質ノ改良ノ問題、全海運業ノ根

本方針ヲ爲ス所ノ問題デアリマスカラ、關

聯シテ此船舶ノ輸入ニ關シ、一切ノ制限ヲ

撤廢シテ、安イ船ヲドシ／＼日本ニ入レ、

因テ以テ世界海運市場ノ確保ヲ爲サントス

ルコトニ關シ、政府ニハサウスル御意思ア

リヤナシヤヲ質問致シマス(拍手)

(國務大臣南弘君登壇)

○國務大臣(南弘君) 只今ノ風見君ノ御質

問ニ御答辯致シマス、第一問ハ船舶ノ年齢

ニ關スル御質問デアリマス、洵ニ御尤ナ御

非常ナ困難ナ問題デアリマシテ、現在ニ於

キマシテハ年齢ノ斟酌ヲ致シマシテ、相當

古クナリマスレバ、遠洋航路カラ近海航路

ニ廻サセラヤウニ致シテ居リマス、又船舶

ノ検査ニ於キマシテモ、寛嚴其宜キヲ得マ

シテ、事實上差支ナイト認メテ居リマスノ

デ、本案ノ中ニ船齡ヲ規定スルコトハ致サ

ナカヲタヤウナ次第アリマス、第二問ハ、

船舶輸入ノ一切ノ障壁ヲ撤廢スルヤ否ヤ、
之ニ關聯致シマシテ、昨年臨時議會ニ於テ

協賛ヲ得マシタ所ノ、船質改善ノ實績ニ付

テノ御尋ニアリマスガ、昨年臨時議會ニ於

テ協賛ヲ經マシタ船質改善ノ、其後ノ進行

ニ付テ申上ゲマスレバ、既ニ今年度ニ於テ

五万噸新造スル計畫ニナフテ居リマスルガ、

既ニ申請ノ認可ヲ致シマシタ分ガ十隻デ、

七万三千噸ニナフテ居リマス、此超過額ハ明

年一度へ繰越ス計畫ニ致シテ居リマス、斯ノ

ニ對シテ解體スペキ船舶トシテ、申請ニナ

リマシタモノハ、三十六隻アリマシテ、此

噸數万十五万五千噸ニナフテ居リマス、斯ノ

如ク今年度ニ於テハ、既ニ豫定ヲ超過致シ

テ居ルヤウナ有様デアリマス、又八年度ニ

ガ十三万噸ニナフテ居リマス、豫定ハ豫算ノ

計畫デハ十一萬噸デアリマス、御心配ニナ

ソレカラ外國船輸入ニ關スル、總テノ障壁

ヲ撤廢スルコトニ付テノ御意見デアリマシ

テ超過致シテ居ルヤウナ實狀デアリマスカ

ラ、此事實ヲ御了承願ヒタイト思ヒマス、

承リマシタガ、昨年船質改善法ノ御協賛ヲ

得マシテ、將來日本ノ海運業ニシテ世界ト

競争スルニハ、是等ノ古船ヲ何トカ始末ヲ

以上ノ船デ、二十五年以上ノ年齢ヲ経過シ

タモノガ八十八萬噸モアルヤウナ現狀ニ顧

ミマシテ、將來日本ノ海運業ニシテ世界ト

競争スルニハ、是等ノ古船ヲ何トカ始末ヲ

第七 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員 ノ選舉

○上田孝吉君 案ヲ付託セラレントヲ望ミマス
八名ノ委員ニ付託セラレントヲ望ミマス
○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議

ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第

八及第九ハ關聯セル議案ナルニ依リ、一括

議題ト爲スニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第

九、米穀需給調節特別會計法中改正法律案

右二案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス

農林大臣後藤文夫君

シテ贊成シ難イ所デアリマス、又現在ノ海

運界ノ實狀ヲ顧ミマシテモ、昨年末ニ於キ

マシテ、爲替下落ノ爲ニ海運界ガ多少ノ刺

テノ御受ケマシテ、運賃其他ニ於キマシテ値

額モアルヤウナ次第アリマス、又歐羅巴

其他ノ遠洋航路ハ日本ノ現在ノ船腹ノ關係

ニ於キマシテモ、今日古船ヲ輸入スル必要

ハ毫モナイト信ジマス、且又是等ノ輸入セ

ラル、古船ハ、世界各國ガ大戰爭中竝ニ其

以後ニ拘ヘタ、最モ粗惡ナル船デアリマシ

テ、是等ノ船ヲ各國共「ダンピング」ヲ致シ

テ居ルヤウナ次第アリマス、斯ノ如キ船

ヲ終リマス

○議長(秋田清君) 日程第七、右各案ノ審

査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマ

第一條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調

節シ米穀ノ統制ヲ圖ル爲本法ニ依リ米

穀ノ買入及賣渡ヲ行フ

第二條 政府ハ勅令ノ定ム所ニ依リ米穀ノ買入及賣渡ヲ行フ

第三條 政府ハ前條ノ最低價格及最高價格ヲ公定シ

前項ノ最低價格及最高價格ハ勅令ノ定ム所ニ依リ米穀ノ最低價格及最高價格ヲ公定シ

ムル所ニ依リ米穀生產費、家計費及物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參照シテ之ヲ定シ

前項ノ最低價格及最高價格ハ勅令ノ定ム所ニ依リ定メタル最低價格又ハ最高價格ハ最高價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參照シテ之ヲ定ム

ムル所ニ依ル賣渡ノ申込ニ應ジテ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス

第五條 政府ハ道府縣ヨリ該地域外ニ又

ハ朝鮮若ハ臺灣ヨリ内地ニ移出スル米穀ノ數量ヲ月別平均的ナラシムル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ出廻期ニ於テ米穀ノ賣

價格ニ依ル買入ノ申込ニ應ジテ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス

第六條 政府ハ前項ノ規定ニ依リ定ムル所ニ依リ定ムル所ニ依リ出廻期ニ於テ米穀ノ賣渡ヲ爲ス

第七條 政府ハ前項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準

據シテ之ヲ定ム

第五條 政府ハ必要ニ應ジ所有米穀ノ貯藏、買換、交換、加工及整理ノ爲ニス
ル賣渡竝ニ輸入ヲ目的トスル米穀ノ買入及輸出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ヲ爲ス

臺灣ハ勿論、近キ將來ニ於テ經濟統制ノ徹底ヲ期シナケレバナラヌ所ノ滿洲ニ於ケル米穀需給數量ヲ如何ニ推算セラレテ、此根本方策ガ樹テラレタカト云フ問題デアリマス、私ハ此推算ノ基礎ガ確乎タル計數ノ上ニ立案セラレタルモノデナイトスルナラバ、即チ今日世間一般カラ全ク無用ノ長物デアルトカ、厄介物デアルトカ云フヤウニ言ハレテ居リマスル所ノ現行米穀法ト同様ノ轍ヲ履ム處ガアルモノト信ズ者デアリマス、是ハ即チ現行米穀法ハ、其立案ノ當初ニ於テハ、當時大藏大臣デアラレマシタ、又農商務大臣デアラレマシタ現高橋大臣、山本内務大臣等ノ人々ニ依テ作ラレタモノデアリマシテ、當時政府ハ、此法案ハ米ノ安イ時ニ買テ高イ時ニ賣ルノアルカラ、決シテ損失ヲ掛ケルモノデハナイ、立派ニ將來米價ノ安定ヲ期スルコトモ出來ルシ、米穀ノ需給モ圓滑ヲ期スルコトガ出來ルト云フ意味ヲ御言明ニナツタノデアリマス、然ルニ其法案ガ數年ナラズシテ、直チニ行詰テシマッテ、米ノ價格ヲ維持スルコトモ出來ナケレバ、又ハ數量ノ調節ニモ困難ヲ來スト云フヤウナ結論ニナツタノデアリマス、此法律ガサウシタ結果ニナツト云フ其根本ノ原因ハ、當時朝鮮茲ニ臺灣ニ於ケル米ノ生産ニ付テ、其需給推算ノ基礎ヲ誤タ爲ニ、斯ウシタ結果ニナツタノデアリマス、私ハ先づ第一ニ此點ニ付テ政府ニ御伺致シテ置キタイノデアリマス、即チ我國ニ於テハ人口增加ノ趨勢ニ比シテ、食糧増産ガ之ニ伴ハナイトスル觀念ガ、從來一般朝野ノ人士ノ頭ヲ支配シテ居タノデアリマス、然ルニ事實ハ之ニ反シマシテ、米ハ供給不足ドコロカ、却テ反對ニ近時毎年供給過剩ニナツテ居ルノデアリマス、最近三箇年間ノ統計ニ付テ考ヘテ見マスト、外米ノ輸入ヲ極力壓迫シテ、制限致シマシタニモ拘ラズ、毎年其端境期ニ於キマシテハ、米穀ノ理想持越高ト致シマスル五百万石ヲ遙ニ超

臺灣ニ於ケル米ノ生産增加ノ趨勢竝ニ内地ニ對スル朝鮮、臺灣ヨリノ移入米ノ狀況ヲ調べテ見マスト、直グ分ルノアルニアリマス、我國ノ一般ノ人ガ尙ホ米ノ供給不足ヲ信ジテ居ルト云フコトハ、近年植民地ニ於ケル是等ノ米ノ增產ノ傾向ヲ、輕視シテ居ルノニ外ナラナイノデアリマス、植民地ニ於ケル譯ス、是等朝鮮、臺灣ニ於キマシテハ、外米ヲ澤山ニ入レテ、乃至ハ粟デアリマストカ、高粱ヲ入レテ、サウシテ自分ノ所デ作タ米ヲ内地ヘ持テ來ルカラ、ソレニ對スル制限ヲ足リト云フ意見モアリマスケレドモ、是ハ決シテサウデハナイノデアリマス、最近ニ於テハ朝鮮、臺灣ニ於ケル外米ノ輸入モ、非常ニ減テ來テ居ルノデアリマス、而モ朝鮮ノ如キハ、米ノ栽培ノ事情ヲ調べテ見マスト、内地ニ比較致シマシテ頗ル幼稚ニシテ、粗放ナル米作ヲ致シテ居リマス、而モ段當リノ米ノ收穫ヲ調べテ見マスト、昭和六年度ニ於キマスト九斗五升ニ過ギナイノデアリマス、内地ノ二石前後ニ較ベマシタナラバ、僅ニ其半額ニモ足リナインデアリマス、此朝鮮ニシテケル米作ガ、將來增產ノ目的ヲ以テ耕地ノ擴張ヲスルトカ、是等ノ改良ヲスルトカ云フ議論ガ、中々旺デアタ云コトヲ聞イタノデアリマス、此生産統制ニ關シテ十分留意セナケレバ、只今私ガ申上ダタヤウナ點ニ、支障ヲ來スト思フノデアリマスガ、ソレガ聞ク所ニ依リマスト、拓務省乃至ハ朝鮮總督府、臺灣總督府ノ反對ニ遭テ、此點ヲ實行スルコトガ出來ナカタト云フ

此米穀統制法案ノ完備ヲ期スルコトハ、數年ヲ俟タズシテ、現行スルコト云フコトヲ聞來ルカドウカト云フコトガ、私ノ第一ノ質問ヲ發スル所以デアリマス、是ガ五割ノ増產ヲ致シマシタナラバ、朝鮮ニ付テ居ルノデアリマス、此點ニ付キマス、私ハ此點ニ付キマス、此點ニ付キマスシテハ、農村及財界ガ最近ノ不景氣ノ爲ニ立案セラレタルモノデナイトスルナラバ、即チ今日世間一般カラ全ク無用ノ長物デアルトカ、厄介物デアルトカ云フヤウニ言ハレテ居リマスル所ノ現行米穀法ト同様ノ轍ヲ履ム處ガアルモノト信ズ者デアリマス、是ハ即チ現行米穀法ハ、其立案ノ當初ニ於テハ、當時大藏大臣デアラレマシタ、又農商務大臣デアラレマシタ現高橋大臣、山本内務大臣等ノ人々ニ依テ作ラレタモノデアリマシテ、當時政府ハ、此法案ハ米ノ安イ時ニ買テ高イ時ニ賣ルノアルカラ、決シテ損失ヲ掛ケルモノデハナイ、立派ニ將來米價ノ安定ヲ期スルコトモ出來ルシ、米穀ノ需給モ圓滑ヲ期スルコトガ出來ルト云フ意

味ヲ御言明ニナツタノデアリマス、然ルニ其法案ガ數年ナラズシテ、直チニ行詰テシマッテ、米ノ價格ヲ維持スルコトモ出來ナケレバ、又ハ數量ノ調節ニモ困難ヲ來スト云フヤウナ結論ニナツタノデアリマス、此法律ガサウシタ結果ニナツト云フ其根本ノ原因ハ、當時朝鮮茲ニ臺灣ニ於ケル米ノ生産ニ付テ、其需給推算ノ基礎ヲ誤タ爲ニ、斯ウシタ結果ニナツタノデアリマス、私ハ先づ第一ニ此點ニ付テ政府ニ御伺致シテ置キタイノデアリマス、即チ我國ニ於テハ人口增加ノ趨勢ニ比シテ、食糧増産ガ之ニ伴ハナイトスル觀念ガ、從來一般朝野ノ人士ノ頭ヲ支配シテ居タノデアリマス、然ルニ事實ハ之ニ反シマシテ、米ハ供給不足ドコロカ、却テ反對ニ近時毎年供給過剩ニナツテ居ルノデアリマス、最近三箇年間ノ統計ニ付テ考ヘテ見マスト、外米ノ輸入ヲ極力壓迫シテ、制限致シマシタニモ拘ラズ、毎年其端境期ニ於キマシテハ、米穀ノ理想持越高ト致シマスル五百万石ヲ遙ニ超

臺灣ハ勿論、近キ將來ニ於テ經濟統制ノ徹底ヲ期シナケレバナラヌ所ノ滿洲ニ於ケル米穀需給數量ヲ如何ニ推算セラレテ、此根本方策ガ樹テラレタカト云フ問題デアリマス、私ハ此推算ノ基礎ガ確乎タル計數ノ上ニ立案セラレタルモノデナイトスルナラバ、即チ今日世間一般カラ全ク無用ノ長物デアルトカ、厄介物デアルトカ云フヤウニ言ハレテ居リマスル所ノ現行米穀法ト同様ノ轍ヲ履ム處ガアルモノト信ズ者デアリマス、是ハ即チ現行米穀法ハ、其立案ノ當初ニ於テハ、當時大藏大臣デアラレマシタ、又農商務大臣デアラレマシタ現高橋大臣、山本内務大臣等ノ人々ニ依テ作ラレタモノデアリマシテ、當時政府ハ、此法案ハ米ノ安イ時ニ買テ高イ時ニ賣ルノアルカラ、決シテ損失ヲ掛ケルモノデハナイ、立派ニ將來米價ノ安定ヲ期スルコトモ出來ルシ、米穀ノ需給モ圓滑ヲ期スルコトガ出來ルト云フ意味ヲ御言明ニナツタノデアリマス、然ルニ其法案ガ數年ナラズシテ、直チニ行詰テシマッテ、米ノ價格ヲ維持スルコトモ出來ナケレバ、又ハ數量ノ調節ニモ困難ヲ來スト云フヤウナ結論ニナツタノデアリマス、此法律ガサウシタ結果ニナツト云フ其根本ノ原因ハ、當時朝鮮茲ニ臺灣ニ於ケル米ノ生産ニ付テ、其需給推算ノ基礎ヲ誤タ爲ニ、斯ウシタ結果ニナツタノデアリマス、私ハ先づ第一ニ此點ニ付テ政府ニ御伺致シテ置キタイノデアリマス、即チ我國ニ於テハ人口增加ノ趨勢ニ比シテ、食糧増産ガ之ニ伴ハナイトスル觀念ガ、從來一般朝野ノ人士ノ頭ヲ支配シテ居タノデアリマス、然ルニ事實ハ之ニ反シマシテ、米ハ供給不足ドコロカ、却テ反對ニ近時毎年供給過剩ニナツテ居ルノデアリマス、最近三箇年間ノ統計ニ付テ考ヘテ見マスト、外米ノ輸入ヲ極力壓迫シテ、制限致シマシタニモ拘ラズ、毎年其端境期ニ於キマシテハ、米穀ノ理想持越高ト致シマスル五百万石ヲ遙ニ超

臺灣ハ勿論、近キ將來ニ於テ經濟統制ノ徹底ヲ期シナケレバナラヌ所ノ滿洲ニ於ケル米穀需給數量ヲ如何ニ推算セラレテ、此根本方策ガ樹テラレタカト云フ問題デアリマス、私ハ此推算ノ基礎ガ確乎タル計數ノ上ニ立案セラレタルモノデナイトスルナラバ、即チ今日世間一般カラ全ク無用ノ長物デアルトカ、厄介物デアルトカ云フヤウニ言ハレテ居リマスル所ノ現行米穀法ト同様ノ轍ヲ履ム處ガアルモノト信ズ者デアリマス、是ハ即チ現行米穀法ハ、其立案ノ當初ニ於テハ、當時大藏大臣デアラレマシタ、又農商務大臣デアラレマシタ現高橋大臣、山本内務大臣等ノ人々ニ依テ作ラレタモノデアリマシテ、當時政府ハ、此法案ハ米ノ安イ時ニ買テ高イ時ニ賣ルノアルカラ、決シテ損失ヲ掛ケルモノデハナイ、立派ニ將來米價ノ安定ヲ期スルコトモ出來ルシ、米穀ノ需給モ圓滑ヲ期スルコトガ出來ルト云フ意味ヲ御言明ニナツタノデアリマス、然ルニ其法案ガ數年ナラズシテ、直チニ行詰テシマッテ、米ノ價格ヲ維持スルコトモ出來ナケレバ、又ハ數量ノ調節ニモ困難ヲ來スト云フヤウナ結論ニナツタノデアリマス、此法律ガサウシタ結果ニナツト云フ其根本ノ原因ハ、當時朝鮮茲ニ臺灣ニ於ケル米ノ生産ニ付テ、其需給推算ノ基礎ヲ誤タ爲ニ、斯ウシタ結果ニナツタノデアリマス、私ハ先づ第一ニ此點ニ付テ政府ニ御伺致シテ置キタイノデアリマス、即チ我國ニ於テハ人口增加ノ趨勢ニ比シテ、食糧増産ガ之ニ伴ハナイトスル觀念ガ、從來一般朝野ノ人士ノ頭ヲ支配シテ居タノデアリマス、然ルニ事實ハ之ニ反シマシテ、米ハ供給不足ドコロカ、却テ反對ニ近時毎年供給過剩ニナツテ居ルノデアリマス、最近三箇年間ノ統計ニ付テ考ヘテ見マスト、外米ノ輸入ヲ極力壓迫シテ、制限致シマシタニモ拘ラズ、毎年其端境期ニ於キマシテハ、米穀ノ理想持越高ト致シマスル五百万石ヲ遙ニ超

農村ハ非常ナル困窮ニ陷ルコト、私ハ考ヘマス、而モ朝鮮ノ如キハ、其生活費が非常ニ安い、公租公課ガ安い、其他總テノ點カラ行キマシテ、地價モ非常ニ内地ニ較ベレバ安イト云フ爲ニ、簡單ニ計算致シマシテモ、内地ノ米ノ生産費ニ較ベマシタナラバ、トニナリマシタナラバ、ソコニ内地ノ大都市附近ノ、生活程度ノ向上シテ居リマス地方ノ農民ハ、米作ニ依テハ將來斷ジテ自己ノ經濟ヲ保フテ行クコトガ出來ナイト云フ結論ニナルト私ハ考ヘマス(拍手)デアリマスルカラ、政府ハ若シ此法案ヲ此儘實施セントスルナラバ、是等大都市附近ノ農村ニ對シテ、特別ノ何等カノ施設ヲスル必要ガアルト考ヘル者デアリマスガ、ソレニ對スル農林大臣ノ御所見ヲ承テ見タイト考ヘマス

第三ト致シマシテハ、政府ハ何故ニ肥料ニ對スル對策ヲ提案シナイカト云フ點デアリマス、米價ガ安定セラレルコトハ、農村

經濟ノ安定ノ基調デアルコトハ勿論申上ゲ

安定モ、亦農家ノ如ク現金支出ノ頗ル少イ

經濟ニ於キマシテハ、其現金支出ノ大部分ヲ肥料代ニ依テ占メテ居ルノデアリマス、

此肥料代ノ暴騰ト云フコトハ、寧ロ米價ヲ

安定シテ貴フヨリモ——而モ最近ノ此經濟

界ノ實情ニ依テ、米モ肥料モ高クナラウ

トシテ居ル時ニ之ヲ抑ヘヨウトスルナラ

バ、米價ノ最低値段ヲ抑ヘテ貴ハントスル

此法律ヨリモ、寧ロ暴騰シテ居ル肥料ニ對

シテ、何等カノ政策ヲシテ貴フコトガ、眞

ニ農民ノ要求スル所デアリマス(拍手)私

ノ調查致シマス所ニ依レバ、昭和六年十

月ト、昭和七年十二月トノ米ト、肥料ノ

最モ中心ノ價格ヲ爲シテ居リマス、疏安ト

ノ、物價指數ノ比較ハ、米ガ百四十八ガ百

五圓乃至八圓ノ開キガアルノデアリマス、五圓乃至八圓ノ開キガアルノデアリマス、此事實ヲ以テ安イト云フ爲ニ、簡單ニ計算致シマシテモ、内地ノ米ノ生産費ニ較ベマシタナラバ、トニナリマシタナラバ、ソコニ内地ノ大都市附近ノ、生活程度ノ向上シテ居リマス地方法製會社ノ組合ヲ作りマシタ、其配給組合ニ依ル人爲的引上策ノ結果デアリテ、當然政府トシテ此人爲的引上策ニ對シテ、何等カノ處置ヲシナケレバナラヌ責任ガアルト考ヘル者デアリマスガ、ソレニ對スル農林大臣ノ御所見ヲ承テ見タイト考ヘマス

○國務大臣後藤文夫君 第一ニ本案ノ目標トスル米穀ノ需給ノ關係ニ付テ御尋ガゴザイマシタ、米穀ノ需給ノ推算ハ、大體ニ於テハ近キ將來、少クトモ今年ノ四月五月頃カラハ、肥料市價ハ暴騰ヲ致シマシテ、農非當ナル農村ヲ困窮ニ陥レ、農民ハ政治ヲ罵リ、政府ヲ怨ムコトが非常ニ大ナル時期ヲ招來スルコト、私ハ固ク信ジテ居リマス、デアリマスルカラ、敢テ此點ニ對シテ、農林大臣ノ率直ナル御答辯ヲ御願スル次第デアリマス(拍手)

第三ト致シマシテハ、政府ハ何故ニ肥料ニ對スル對策ヲ提案シナイカト云フ點デアリマス、米價ガ安定セラレルコトハ、農村ノ生產費維持ニ依ル極めて安定ヲ見ルコトハ出來マスカモ知レマセヌガ、他面ニ於テハ近キ將來、少クトモ今年ノ四月五月頃カラハ、肥料市價ハ暴騰ヲ致シマシテ、農

非當ナル農村ヲ困窮ニ陥レ、農民ハ政治ヲ罵リ、政府ヲ怨ムコトが非常ニ大ナル時期ヲ招來スルコト、私ハ固ク信ジテ居リマス、デアリマスルカラ、敢テ此點ニ對シテ、農

實ニ莫大ナルモノデアルト私共ハ思フノデアリマス、勘クトモニ一億圓以上ハ既ニ損失トシテ出シ、現在又政府ガ御持チニナッテ居ル所有米、此米ヲ又現在ニ於テ賣拂ッテ清算致シマシタ時ニハ、是亦其損失ハ莫大ナルモノデアル、サウシテ見マスト、今後政府ハ七億圓ノ金額ノ中ヨリ幾許ヲ引去シテ、残リノ如何ナル程度ノ金額ヲ以テ此對策ヲ爲サル御考デアルカ、是等モ併セテ御聞キ政シタイト思ヒマス、サウシテ其金額ノ大略デ宜シウゴザイマスケレドモ、今迄ノ損失ニ對シテ、既ニ使ヒ果サレテ赤字ニナツテ居リマスモノト、サウシテ現在アリマス政府ノ所有米ノ損失、是等ヲリイタ後ノ、今後ニ處スペキ資金ガ幾許殘リマスカ、之ヲ農林大臣ヨリ一應伺テ置キタイノデアリマス

私等ガ考ヘマスト、本案ハ吾等ノ熱望シテ居ル所ハ全ク其趣旨ヲ取去ラレテシマヒマシテ、失敗ノ歴史ノアル所ノ任意調節ガ、始ド其根本ニナツテ居ルノデハ、ナイカ、又前ニ河野君ガ申シマシタ如ク、殆ド前ノ米穀法ト何等相違シテ居ナイ、何處ガ違テ居リカト云ヘバ、或ハ罰則等ノ點ニ於テハ兎ヤ角ト非常ニ詳シク出テ居リマスケレドモ、其實體ノ上ニ於テハ、現在ノ米穀法ト何等變リガナイ、左様ナモノデアリマスト、前ニ河野君ノ言ウタ如ク、生産費ト云フモノニ依テ米ヲ農家カラ買上ゲルモノデアルナラバ、農家ト云フモノハ之ニ依テ一錢一厘モ利潤ヲ得ルコトハ出來ナイ、全ク之ハ米價ヲ定メテシマッテ、上ト下トノ局限シタ場合ニ於テハ、農家ハ米價ガ少シデモ上ラバ、農家ト云フモノハ之ニ依テ一錢

ノナツテ、農家ノ爲ニ非常ナ不利益デアテ、農家ヲ救フト云フヨリ、寧ロ壓迫スル結果ニ相成ルコトヲ御承知ニナラネバナテ儲ケントスル時ニハ、又上カラ壓迫スルコト思ヒマス、此意見ハ吾々ノ見解ノ相違デアルト思ヒマスカラ、農林大臣ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

ソレカラ御承知ノ通り米價ノ暴騰ナルモノハ、其騰貴ヲスル場合ニハニツノ理由ガアリマス、一ハ不作ノ年デアリマス、不作略デ宜シウゴザイマスケレドモ、今迄ノ損失ニ因ツテノ騰貴、今一つハ一般ノ景氣ノ回復ニ因ル騰貴、此ニツノ場合デアリマスガ、不作ニ對シテ、既ニ使ヒ果サレテ赤字ニナツテ居リマスモノト、サウシテ現在アリマス政府ノ所有米ノ損失、是等ヲリイタ後ノ、今後ニ處スペキ資金ガ幾許殘リマスカ、之ヲ農林大臣ヨリ一應伺テ置キタイノデアリマス

同時ニ景氣ガ回復シテ、米價ガ高クナル場合ニハ、農家ノ生活ト云フモノハ御互ト同ジテ、商人モ、官吏モ、農民モ、生活費ト云フモノハ同ジャウニ高マルノデアリマス、其時ニ農家ハ獨リ苦境ニ陥ルノデアリマスルガ、是モ農林大臣ハ如何御考ニナツテ居リマスカ、又農村ノ救濟ト云フコトニ根本ノ趣旨ガ置カレテ居リヤウナコトガ、先程ノ答辯ノ中ニアリマシタガ、果シテ乍様デアリマスナラバ、生産費ヲ割込マス保障ヲ、國家ノ力デ致サレルト云フコトハ勿論デアリマスガ、若シ大豐作ノ場合ニ於テ、其使ヒマスル金ガ無クナツタ時ニハ、私ガ前ニ尋ねマシタ所ノ資金ガ、政府ニ於テモ無限ノモノデハナイダラウト思フ、其時ニ於テハ政府ハ如何ナル御處置ヲ御執リニナル積リデアリマスルカ、又此米ヲ御賣リニナルト云フ場合ニ於テ、少イ米ヲ又賣テ、其米價ヲ抑壓スルダケノ方法ハ他ニアリマスルカ、當局ニ於テハ吾々ノ想像スルト同ジク、今迄ノ米穀法ト云フモノニ基準ヲ取テオ

タルモノデアリマス、唯第二ノ御尋ニアリマシタノデアリマス、最低價格以下モ低價格デ買フノデアリマス、最低價格以下モ時價デ買フ、基準ヨリ二圓下ツテモ三圓下ツテモ其値段ノ下ルコトヲ防止シヨウトスルノデアリマス、唯第二ノ御尋ニアリマシタニミノ値段ノ下ルコトヲ防止シヨウトスルノデアリマス、唯第二ノ御尋ニアリマシタニミノ値段ノ下ルコトヲ防止シヨウトスルノデアリマス、是迄ノヤウニ買テモ宜ケレバ買ハヌデモ宜イ、買フ値段ハ安ケレバ安ク買フノダト云フノデハアリマセヌ、決メタ値段ヲ以テ買フト云フコトニ依テ、決メタ値段ヨリモ下ラセマイトスルノデアリマス、資金ハ十分ノ準備ガナケレバナリマセス、資金ノ計算ノ細カイコトハ、委員會等ノデ中上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス、今居ル金額ヲ除イタ餘力ハ約四億三千萬圓、此居メヨウ、此法案實施ノ時ニ其資力ヲ備ヘテ

○國務大臣(後藤文夫君)第一ニ此度ノ新編制法案ノ、最低ノ價格ヲ定メテ米價ノ下ソレガ上値ヲ限定サレテ居リマス場合ニハ、農家ハ非常ナ多額トナリ、ソレガ上値ヲ限定サレテ居リマス場合ニハ、農家ハ非常ナ多額トナリ、其生産費ト云フモノハ石當リ非常ニ因ル騰貴、此ニツノ場合デアリマスガ、不作ニ對シテ、既ニ使ヒ果サレテ赤字ニナツテ居リマスモノト、サウシテ現在アリマス

コトヲ考慮ニ入レテ置カレヌト、非常ナル間違ヒニナルト私ハ信ズルノデアリマス、御承知ノ通り一段ノ田ニ於テ一石獲レル米ガ、不作ノ爲ニ七斗ニナツタ時ニハ、其生産費ト云フモノハ石當リ非常ニ因ル騰貴、此ニツノ場合デアリマスガ、不作ノ爲ノ騰貴ニハ不作ノ爲ノ騰貴ニ因ツテノ騰貴、今一つハ一般ノ景氣ノ回復ニ因ル騰貴、此ニツノ場合デアリマスガ、不作ニ對シテ、既ニ使ヒ果サレテ赤字ニナツテ居リマスモノト、サウシテ現在アリマス

コトヲ考慮ニ入レテ置カレヌト、非常ナル間違ヒニナルト私ハ信ズルノデアリマス、ソレガ上値ヲ限定サレテ居リマス場合ニハ、農家ハ非常ナ多額トナリ、ソレガ上値ヲ限定サレテ居リマス場合ニハ、農家ハ非常ナ多額トナリ、其生産費ト云フモノハ石當リ非常ニ因ル騰貴、此ニツノ場合デアリマスガ、不作ニ對シテ、既ニ使ヒ果サレテ赤字ニナツテ居リマスモノト、サウシテ現在アリマス

コトヲ考慮ニ入レテ置カレヌト、非常ナル間違ヒニナルト私ハ信ズルノデアリマス、ソレガ上値ヲ限定サレテ居リマス場合ニハ、農家ハ非常ナ多額トナリ、ソレガ上値ヲ限定サレテ居リマス場合ニハ、農家ハ非常ナ多額トナリ、其生産費ト云フモノハ石當リ非常ニ因ル騰貴、此ニツノ場合デアリマスガ、不作ニ對シテ、既ニ使ヒ果サレテ赤字ニナツテ居リマスモノト、サウシテ現在アリマス

分ナ準備ヲ致シテ置クコトヲ以テ、現在トシテハ満足スルノ外ハナイト思フノデアリマス、ソレカラ上値ヲ維持スル爲ニモ米ヲ賣ラケレバナラヌガ、米ガナイ時ハ仕方ガナイヂヤナイカ、是ハ御説ノ通リデアリマス、政府ガ其時ニ持ツテ居ル手持米及政府ガ手ニ入レ得ル外米其他ノ米ヲ以テ、之ニ應ジナケレバナラヌノデアリマス、是モ通常想像シ得ベキ場合ニ於テハ、政府ガ相當ナ米ヲ平素ニ於テ持チ、又需給ノ推算カラシテ相當ナ輸入米ナリ、又政府ガ米買上ノ準備ヲシテ置クト云、フヤウナ方法ニ依テ、此上値ニ應ズルコトガ出來ルト思フノデアリマス、今回ノ新統制案ハ、過去ニ於テモ米穀統制ニ付テ各種ノ意見ガアリマシ、又義ノ臨時議會等ニ於テモ議會ノ御希望等ガアリマシテ、出来ル限り現在ニ於テ實行シ得ベキ有力ナル米穀統制ノ策ヲ見出サウト致シマシテ、専門家、實際家等ノ集馬レタ會合ニ於テ得マシタ、現在ノ實行シ得ベキ最モ有力ナル案トシテ、此法案ヲ立案致シタヤウナ譯デアリマス、大體豫テノ皆様ノ御希望ノ趣旨ニ應ズル爲ニ作タ

○議長(秋田清君) 村松久義君(登壇)
○村松久義君 諸君、只今議題ニ相成ッテ居リマスル米穀統制案ハ、從來ノ米穀政策ニ對シマシテ、其一步ヲ進メタルモノトシテ欣快ニ存ズルモノデアリマス、而シテ吾々ハ此法案ノ目的ヲ達成セシムルコトヲ考ヘマスルガ故ニ、一二三ノ重要ナル問題ニ關シテ、質問ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス(拍手)

政府ハ曩ニ現行米穀法ノ改正ヲ目論見マシテ、主務省ニ米穀部ヲ置キ、又顧問會ヲ開キ、更ニ朝野及各政黨ノ選集メ、マシタル委員ヲ以テ組織致シマシタル、米穀統制調査委員會ナルモノヲ設置致シタノデアリマスル、而シテ此調査

會ニ於キマシテ、米穀專賣法案、米穀管理法案、其他二ツノ參考資料ヲ提供致シテ諸問ヲ致シタノデアリマスルガ、其結果トシテ致シマシテ、最後ニ殘サレタルモノガ此法案デアフタノデアリマスルガ、即チ政府ニ於カレマシテハ、此最後ニ殘サレタル公定案コソ、實際ニ實行ノ可能ナモノデアリ、米穀專賣法案或ハ米穀管理法案ノ如キハ、實行不可能ナモノトシテ之ヲ捨テラレタノデアルカドウカヲ御伺致シタノデアリマス、果シテ然リト致シマスルナラバ、此最後案トシテ殘サレマシタル此法案デアリマスルダケニ、ヨリ以上ノ興味ヲ懷カザルヲ得ナイノデアリマス、私ノ……

(發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅
○村松久義君(續) 私ノ理會スル所デハ、公定價格ノ主眼ト致シマスル所ハ、生産者ト消費者ノ特殊事情ヨリ生ジマスル矛盾ヲ解決シ、農業、工業ヲ調和セシメタル上ニ於テ、公正ナル價格ヲ發見スルニアルト思フノデアリマスル、即チ理想論トシテ申シマスルナラバ、今日ノ社會ノ總テノ階級ニ對シマシテ、ナケレバナラヌ價格、アラシメナケレバナラヌ價格ヲ發見スルニアルト

信ズル次第デアリマスルケレドモ
(發言スル者アリ)
○議長(秋田清君) 静肅
○村松久義君(續) 實際政治ノ運用ト致シテ、買上ノ義務ガアルト思フノデアルシ、而シテ同時ニ季節的ノ出廻リノ數量調節ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、此點ニ關シマシテ疑フ有シテ居リマスルガ故ニ、御尋ねテ居タノデアリマス、隨テ、或ル方面ナル狀態ニ立至フテ居ルコトデアリマスル、從來トテモ農民ハ其再生產費トモ申スベキ、次年度ノ生產費ハ殆ド之ヲ借入ヲ以テヤフテ參ッタノデアリマス、隨テ、或ル方面ニ於キマシテハ、肥料ニ於テ、亦肥料ニ於キマシテ、實ニ三四割ノ高利ヲサヘモ貪ラレテ居タ、是ガ今日農家六十億ノ借金ノ相シテ、當部分ヲ成シテ居ルデアラウト云フコトハ、當部分ヲ成シテ居ルナラバ、農家ノ再生產費ニ想像ニ難クナイ次第デアリマス、即チ若シ生產費ノ外ニ、物價及其他ノ經濟事情ヲ參酌致シマスルナラバ、農家ノ再生產費ニ關スル考慮ヲモ、當然爲スベキデハナイカト信ジテ疑ハザル次第デアリマスル(拍手)

此法案ニ於キマスル最低ノ價格ヲ見マスレバ、ソレハ生産費ト物價其他ノ事情ヲ參照シテ、之ヲ決定スルコトニ相成シテ居ルノデアリマスル、物價其他ノ經濟事情ヲ參ナケレバナラヌカニ、重點ヲ置クベキモノデハナイカト信ジテ居ル次第デアリマスル、此法案ニ於キマシテ「インフレーション」ガ具シタル景氣ノ消長ナリ、或ハ特殊ノ經濟事情、例へバ肥料ノ極端ナル暴騰ト云フガ如

居リマスル米穀統制案ハ、從來ノ米穀政策ニ對シマシテ、其一步ヲ進メタルモノトシテ欣快ニ存ズルモノデアリマス、而シテ吾々ハ此法案ノ目的ヲ達成セシムルコトヲ考ヘマスルガ故ニ、一二三ノ重要ナル問題ニ關シテ、質問ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス(拍手)

○村松久義君 諸君、只今議題ニ相成ッテ居リマスル米穀統制案ハ、從來ノ米穀政策ニ對シマシテ、其一步ヲ進メタルモノトシテ欣快ニ存ズルモノデアリマス、而シテ吾々ハ此法案ノ目的ヲ達成セシムルコトヲ考ヘマスルガ故ニ、一二三ノ重要ナル問題ニ關シテ、質問ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス(拍手)

○村松久義君(登壇)
○村松久義君 諸君、只今議題ニ相成ッテ居リマスル米穀統制案ハ、從來ノ米穀政策ニ對シマシテ、其一步ヲ進メタルモノトシテ欣快ニ存ズルモノデアリマス、而シテ吾々ハ此法案ノ目的ヲ達成セシムルコトヲ考ヘマスルガ故ニ、一二三ノ重要ナル問題ニ關シテ、質問ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス(拍手)

○村松久義君(續) 實際政治ノ運用ト致シテ、買上ノ義務ガアルト思フノデアルシ、而シテ同時ニ季節的ノ出廻リノ數量調節ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、此點ニ關シマシテ疑フ有シテ居リマスルガ故ニ、御尋ねテ居タノデアリマス、隨テ、或ル方面ナル狀態ニ立至フテ居ルコトデアリマスル、從來トテモ農民ハ其再生產費トモ申スベキ、次年度ノ生產費ハ殆ド之ヲ借入ヲ以テヤフテ參ッタノデアリマス、隨テ、或ル方面ニ於キマシテ、實ニ三四割ノ高利ヲサヘモ貪ラレテ居タ、是ガ今日農家六十億ノ借金ノ相シテ、當部分ヲ成シテ居ルデアラウト云フコトハ、當部分ヲ成シテ居ルナラバ、農家ノ再生產費ニ想像ニ難クナイ次第デアリマス、即チ若シ生產費ノ外ニ、物價及其他ノ經濟事情ヲ參酌致シマスルナラバ、農家ノ再生產費ニ關スル考慮ヲモ、當然爲スベキデハナイカト信ジテ疑ハザル次第デアリマスル(拍手)

此法案ニ於キマスル最低ノ價格ヲ見マスレバ、ソレハ生産費ト物價其他ノ事情ヲ參照シテ、之ヲ決定スルコトニ相成シテ居ルノデアリマスル、物價其他ノ經濟事情ヲ參ナケレバナラヌカニ、重點ヲ置クベキモノデハナイカト信ジテ居ル次第デアリマスル、此法案ニ於キマシテ「インフレーション」ガ具シタル景氣ノ消長ナリ、或ハ特殊ノ經濟事情、例へバ肥料ノ極端ナル暴騰ト云フガ如

居リマスルナラバ、農家ノ再生產費ニ關スル考慮ヲモ、當然爲スベキデハナイカト信ジテ疑ハザル次第デアリマスル、物價其他ノ經濟事情ヲ參ナケレバナラヌカニ、重點ヲ置クベキモノデハナイカト信ジテ居ル次第デアリマスル、此法案ニ於キマシテ「インフレーション」ガ具シタル景氣ノ消長ナリ、或ハ特殊ノ經濟事情、例へバ肥料ノ極端ナル暴騰ト云フガ如

謂出廻期デアリマスル十一二月ヨリ、翌年ノ二月ニ買上ヲセラレテ居リマスルノガ多數デアリマシテ、其他ハ殆ド例外デアルト言ヘナケレバナラヌノデアリマス、然ラバ此時期ニ於テ時價ニ依ル買上ノ出動ニ及シダナラバ、結局無基準ナル買上ノ發動ニ還元スルノ虞レハナクハナイノデハナカラウカト考ヘザルヲ得ナイ、米穀法ノ沿革ヲ考ヘテ見マスレバ、從來無基準ノ買上ノ出動ガ度々行ハレ、其弊ニ堪ヘザルガ爲ニ、茲ニ基準ヲ制定スルニ至ラタ次第デアリマス、無基準還元ノ虞レアリトスル、此季節的ノ買上ニ關シマシテ、政府ノ御所見ヲ質シタイノデアリマス

更ニ私共ガ看逃スコトノ出來ナイ點ト云フノヘ、此季節的調節ニ付キマシテハ、却テ米價ノ安定ヲ阻碍スルノミナラズ、更ニ進ンデハ米價ノ翻弄ヲ、政府自ラ之ヲ行フノ結果ニ至ルコトナキヤア懸念致シテ居次第デアリマス、恐ラク政府ニ於カレマシテハ、此季節的ノ出廻リ數量調節ト云フコトヲ以チマシテ、價格調節ノ爲ニ必要ナル手段デアルトノ御考デアルト思ヒマス、併ナガラ結果ノ甚シキ場合ヲ想像シテ見マスルナラバ、出廻期ニ於テ最高ノ値段ニ近キモノヲ以テ買上グルコトガアルカト思ヒマスレバ、或ル場合ニ於テハ最低ノ値段ニ近キモノヲ以テ、之ヲ賣出サナケレバナラナイト云フガ如ク、結局其安定ヲ求メツ、遂ニ安定ノ途ニ達スルコトガ出來ナイヤウナ事情が發生スルノデハナカラウカ、十分ニ吟味シナケレバナラヌ點デアルト思フノデアリマス（拍手）

要スルニ季節的ノ調節ノ結果トシテハ、或ハ第一ニ基準ヲ素スコトガナイカドウカ、米價ノ動搖ヲ來スコトガナイカドウカ、公定價格ノ基礎ヲ危クスルコトガナイカドウカ、更ニ無用ニ國費ヲ浪費致シマシテ、其結果トシマシテ、本法案ノ有ツテ居リマスル強大ナル威力ヲサヘ失墜スルコトノ處（拍手）

答辯ヲ得タイト思フノデアリマス（拍手）

尙ホ私ハ此季節的ノ調節ニ關聯致シマシテ、運用ノ方面ニ付テ御尋ヲ致シタイノデアリマス、事ハ洵ニ些々タル問題デアルカノ如キコトデアリマスケレドモ、此運用ノ如何ニ依リマシテハ、實ニ農民ノ多數ニ於テ非常ナル不平不滿ノ原因タリト言ハナケレバナラヌノデアリマスルガ故ニ、此點ヲ御尋致シタイト思フ、季節的ノ調節ニ對シマシテハ、恐ラク今日ノ斯ノ如キ農家ノ疲弊ヲ以テシマスルナラバ、絕對的ニ現金ガ必要デアルト云フ點ヨリ致シマシテ、從來ハ唯米價安ノ爲ニ手放スコトヲ欲セザル人々ニ於テサヘモ、尙且ツ非常ナル勢ヲ以テ之ヲ手放サントスルデアラウト思フ、貧農デアリマスルナラバアルダケニ、其念ノ熾烈ナ事ヲ思フ次第デアリマス、私共ハ諸君ト共ニ斯ノ如キ貧農ニ對シマシテ、現金ヲ擱マシメタイト考ヘテ居ル次第デアリマスケレドモ、從來ノ如クニ買上ヲ致シマスル場所ガ、全國僅ニ六箇所オハ七箇所ニ過ぎナイ、又買入ノ條件ト致シマシテモ、五十俵以上ニ非ザレバ之ヲ取扱ハズト云フガ如キ、過酷ナル條件ヲ附シテ居ラレタノデアリマスルナラバ、到底地方ニ偏在致シマスル農民竝ニ貧農階級ノ人々ニ於テハ、是ノ買上ヲ希望スルト雖モ、到底其目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデハナイカト考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、一部ノ大地主、朝鮮邊リカト考ヘラレバ、到底モ色々ナ方法ニ依リテ云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ全ク別ノコトデアリマス、公定價格ハ最高ト最低ヲ定メマシテ、此範圍内ニ米價ヲ在ラシメヨウトスルノデアリマス、季節的ノ調節ハ、季節的ニ出廻ガ殺到シテ、米價ニ大キニ變動ヲ起スト云フノカ常例デアリマス、之ニ對シテハ是迄モ色々ナ方法ニ依リテ、農家ガ出廻ヲ自ラ調節ラシテ、成ベク月別平均的ニ市場ニ米ノ現ハレルヤウニシタインテ云フコトデ、政府ニ於テモ、亦地方ニ於テモ努力致シテ參テ居ルノデアリマス、昨年ハ臨時立法トシテ、朝鮮デミヲ買フト云フヤウナ方法モ設ケタノデアリマス、是等在來行ハレマシタ言ハナケレ、ナラヌノデアリマス、此點ニ關シマシテ、政府ニ於カレマシテハ、此買上ノ場所ヲ増設スルカ、又買入ノ條件ヲ緩和スルカ否カ等ニ關シマシテノ、御答辯ヲ得タイト思フ次第デアリマス

（國務大臣後藤文夫君登壇）

○國務大臣（後藤文夫君）再生産費ト云フ見地カラ、一般經濟界ノ事情ノ變化ヲ、米價ノ公定ヲスル時ニ考ヘナケレバナラヌデアリマス、事ハ洵ニ些々タル問題デアルカノ如キコトデアリマスケレドモ、此運用ノ如何ニ依リマシテハ、實ニ農民ノ多數ニ於テ非常ナル不平不滿ノ原因タリト言ハナケレバナラヌノデアリマスルガ故ニ、此點ヲ御尋致シタイト思フ、季節的ノ調節ニ對シマシテハ、恐ラク今日ノ斯ノ如キ農家ノ疲弊ヲ以テシマスルナラバ、絕對的ニ現金ガ必要デアルト云フ點ヨリ致シマシテ、從來ハ唯米價安ノ爲ニ手放スコトヲ欲セザル人々ニ於テサヘモ、尙且ツ非常ナル勢ヲ以テ之ヲ手放サントスルデアラウト思フ、貧農デアリマスルナラバアルダケニ、其念ノ熾烈ナ事ヲ思フ次第デアリマス、私共ハ諸君ト共ニ斯ノ如キ貧農ニ對シマシテ、現金ヲ擱マシメタイト考ヘテ居ル次第デアリマスケレドモ、從來ノ如クニ買上ヲ致シマスル場所ガ、全國僅ニ六箇所オハ七箇所ニ過ぎナイ、又買入ノ條件ト致シマシテモ、五十俵以上ニ非ザレバ之ヲ取扱ハズト云フガ如キ、過酷ナル條件ヲ附シテ居ラレタノデアリマスルナラバ、到底地方ニ偏在致シマスル農民竝ニ貧農階級ノ人々ニ於テハ、是ノ買上ヲ希望スルト雖モ、到底其目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデハナイカト考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、一部ノ大地主、朝鮮邊リカト考ヘラレバ、到底モ色々ナ方法ニ依リテ云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ全ク別ノコトデアリマス、公定價格ハ最高ト最低ヲ定メマシテ、此範圍内ニ米價ヲ在ラシメヨウトスルノデアリマス、季節的ノ調節ハ、季節的ニ出廻ガ殺到シテ、米價ニ大キニ變動ヲ起スト云フノカ常例デアリマス、之ニ對シテハ是迄モ色々ナ方法ニ依リテ、農家ガ出廻ヲ自ラ調節ラシテ、成ベク月別平均的ニ市場ニ米ノ現ハレルヤウニシタインテ云フコトデ、政府ニ於テモ、亦地方ニ於テモ努力致シテ參テ居ルノデアリマス、昨年ハ臨時立法トシテ、朝鮮デミヲ買フト云フヤウナ方法モ設ケタノデアリマス、是等在來行ハレマシタ言ハナケレ、ナラヌノデアリマス、此點ニ關シマシテ、政府ニ於カレマシテハ、此買上ノ場所ヲ増設スルカ、又買入ノ條件ヲ緩和スルカ否カ等ニ關シマシテノ、御答辯ヲ得タイト思フ次第デアリマス

○議長（秋田清君）由谷義治君

○由各義治君 私ノ質問ヲ進メマス便宜上、簡単デアリマスカラ、一言ダケ此席カラ農林大臣ニ質問スルコトヲ御許シヲ願ヒマス

○議長(秋田清君) 御登壇ヲ望ミマス

(「登壇々々」ト呼フ者アリ)

〔山谷義治君登壇〕

○由各義治君 質問ヲ進メマス便宜上、農林大臣ニ對シテニツノ點ニ付テ先づ御尋フシタインデアリマス、第一ハ、本法ニ謂フ最高最低價格ノ值幅ハドノ程度ヲ豫想サレテ居リマスカ、恐ラク本法ノ施行ニ依テ、施行細則ガ決定セラレルト考ヘマスガ、之ニ對シマスル大體ノ見當ノ具體的發表ヲ御頼シタインデアリマス、モウ一つハ、先刻ドナタカノ質問ニアタタヤウデアリマスガ、七億圓ニ増額ナレマシタ後ノ米穀資金ノ内譯デアリマス、缺損、固定シテ居る資金、將來發動シ得ル可能性ヲ持ツ資金、此内譯ニ付テ一應御答辯ヲ御願シテ置キマス

〔國務大臣後藤文夫君登壇〕

○國務大臣(後藤文夫君) 最高最低價格ノ値幅ハ何程ニナルカト云フコトハ、具體的

ニハ申上ゲラレマセヌ、相當ナ幅ガ必要デアルト思ヒマス、併シ又無暗ニ廣イノデハイケナイト思ツテ居ルノデアリマス、米價ノ全體ノアリカガ高イ場合ニハ、値幅ハ自ラ

廣イダラウト思ヒマス、又米價ノアリカガ低イ場合ニハ値幅ハズト低イデアラウト思ヒマス、是ハ米穀統制法ニ定メテアリマス公定價格ノ決定ヲ致スアノ方法ニ從ヒマシテ、相當ナ所ニ定メナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレカラ需給特別會計法ノ金額ノ御尋ハ、私能ク今伺ヒ兼ネタノデアリマス、其施行ヲ始メル時期ニ於ケル米穀資金ノ餘力ハ、約四億三千萬圓ト云フ計算ニ相成ルノデアリマス、何カ色々ナ細カイ

御尋ガアレバ、又他ノ機會ニ御答致スコトニ致シマス

〔山谷義治君登壇〕

○由公義治君 私ハ此重大ナ米穀統制法案ヲ中心ト致シマシテ、五ツノ點ニ付テ政府ノ意見ヲ明確ニ聞イテ置ク必要ヲ痛感スルシタインデアリマス、第一ハ、本法ニ謂フ

最高最低價格ノ値幅ハドノ程度ヲ豫想サレテ居リマスカ、恐ラク本法ノ施行ニ依テ、施行細則ガ決定セラレルト考ヘマスガ、之ニ對シマスル大體ノ見當ノ具體的發表ヲ御頼シタインデアリマス、モウ一つハ、先刻ドナタカノ質問ニアタタヤウデアリマスガ、七億圓ニ増額ナレマシタ後ノ米穀資金ノ内譯デアリマス、缺損、固定シテ居る資金、將來發動シ得ル可能性ヲ持ツ資金、此内譯ニ付テ一應御答辯ヲ御願シテ置キマス

〔國務大臣後藤文夫君登壇〕

○國務大臣(後藤文夫君) 最高最低價格ノ値幅ハ何程ニナルカト云フコトハ、具體的

ニハ申上ゲラレマセヌ、相當ナ幅ガ必要デアルト思ヒマス、併シ又無暗ニ廣イノデハイケナイト思ツテ居ルノデアリマス、米價ノ全體ノアリカガ高イ場合ニハ、値幅ハ自ラ

廣イダラウト思ヒマス、又米價ノアリカガ低イ場合ニハ値幅ハズト低イデアラウト思ヒマス、是ハ米穀統制法ニ定メテアリマス公定價格ノ決定ヲ致スアノ方法ニ從ヒマシテ、相當ナ所ニ定メナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレカラ需給特別會計法ノ金額ノ御尋ハ、私能ク今伺ヒ兼ネタノデアリマス、其施行ヲ始メル時期ニ於ケル米穀

ス、世間ハ此米穀統制法案ニ對シテ様々ナ議論ヲシテ居ル、此米穀統制ニ對シテ一番反対ノ立場ニアル米穀取引所同監聯合會ノ如キハ懇ヘテ參リマシタ、元來國家ノ統制ニ依リマス、第二ハ將ニ可決サレントシテ居ルリマス、第三ハ、米穀統制ト云フ文字ガ示シテ居リマス政府ノ謂フ所ノ、統制觀念ノ内容實質ニ關スル本質的ナ質問ニアリマス、第一ハ、本法ガ實施ニナツタ晚、果シテ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカト云フ、本法ノ實行可能ニ關スル質問デアリマス、第一ハ、農村問題ヲ主トシテ、本法ノ實施ガ相當程度マデ農村ヲ救フニ足ルカ否カノ質問デアリマス、第四ハ、屢問題ニナル所ノ生産費ノ基準前ニ關シテ、深刻ナ立場ニ於ケル小農ノ利害ヲ代表スル意味ニ於テノ質問デアリマス、更ニ第五ハ、肥料ノ問題ニ關シテ質問ヲ申上ゲタイト考ヘテ居リマス、聯シテ質問ヲ申上ゲタイト考ヘテ居リマス、第一ハ、農村問題ヲ主トシテ居リマス、第一ノ質問ハ、政府ノ所謂統制ナル文字ガ示ス所ノ内訳ハドウカデアリマス、率直ニ申シマスト、今日ノ自由放任經濟ニ向テ、政府ハ相當勇敢ナ戰ヲ宣センタルモ

タ原理ヲ一應申上ゲテ置キタイ、吾々ノ議論ハ一切ガ是カラ出發スルコトヲ能ク御了承フ御願シテ置キタイ、資本主義經濟ノ精神デアル所ノ自由放任經濟ノ行詰リテアリマス、サウシテ此行詰リヲ一番早ク敏感ニ知ッタ

ノデアリマス、第一ハ、本法ガ實施ニナツタ晚、果シテ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカト云フ、本法ノ實行可能ニ關スル質問デアリマス、第一ハ、農村問題ヲ主トシテ、本法ノ實施ガ相当程度マデ農村ヲ救フニ足ルカ否カノ質問デアリマス、第四ハ、屢問題ニナル所ノ生産費ノ基準前ニ關シテ、深刻ナ立場ニ於ケル小農ノ利害ヲ代表スル意味ニ於テノ質問デアリマス、更ニ第五ハ、肥料ノ問題ニ關シテ質問ヲ申上ゲタイト考ヘテ居リマス、第一ハ、農村問題ヲ主トシテ居リマス、第一ノ質問ハ、政府ノ所謂統制ナル文字ガ示ス所ノ内訳ハドウカデアリマス、率直ニ申シマスト、今日ノ自由放任經濟ニ向テ、政府ハ相當勇敢ナ戰ヲ宣センタルモ

タ原理ヲ一應申上ゲテ置キタイ、吾々ノ議論ハ一切ガ是カラ出發スルコトヲ能ク御了承フ御願シテ置キタイ、資本主義經濟ノ精神デアル所ノ自由放任經濟ノ行詰リテアリマス、サウシテ此行詰リヲ一番早ク敏感ニ知ッタ

ノデアリマス、第一ハ、本法ガ實施ニナツタ晚、果シテ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカト云フ、本法ノ實行可能ニ關スル質問デアリマス、第一ハ、農村問題ヲ主トシテ居リマス、第一ノ質問ハ、政府ノ所謂統制ナル文字ガ示ス所ノ内訳ハドウカデアリマス、率直ニ申シマスト、今日ノ自由放任經濟ニ向テ、政府ハ相當勇敢ナ戰ヲ宣センタルモ

タ原理ヲ一應申上ゲテ置キタイ、吾々ノ議論ハ一切ガ是カラ出發スルコトヲ能ク御了承フ御願シテ置キタイ、資本主義經濟ノ精神デアル所ノ自由放任經濟ノ行詰リテアリマス、サウシテ此行詰リヲ一番早ク敏感ニ知ッタ

ノデアリマス、第一ハ、本法ガ實施ニナツタ晚、果シテ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカト云フ、本法ノ實行可能ニ關スル質問デアリマス、第一ハ、農村問題ヲ主トシテ居リマス、第一ノ質問ハ、政府ノ所謂統制ナル文字ガ示ス所ノ内訳ハドウカデアリマス、率直ニ申シマスト、今日ノ自由放任經濟ニ向テ、政府ハ相當勇敢ナ戰ヲ宣センタルモ

タ原理ヲ一應申上ゲテ置キタイ、吾々ノ議論ハ一切ガ是カラ出發スルコトヲ能ク御了承フ御願シテ置キタイ、資本主義經濟ノ精神デアル所ノ自由放任經濟ノ行詰リテアリマス、サウシテ此行詰リヲ一番早ク敏感ニ知ッタ

成スモノト考ヘルノデアリマス、斯ウ言々
夕考方カラ、國民同盟ガ經濟參謀本部ノ設
立ヲ主張シ、或ハ又ソレニ至ル實行手段ト
シテ法的統制ヲ考ヘツ、アルノモ、全ク此
所以ニ出發スルノデアリマスガ、此建前カ
ラ吾々ハ米ノ問題ヲ考ヘテ見タイ、一方ニ
於テハ賣手デアリマス、一方ニ於テハ買手
デアリマス、利害ノ正面衝突ハ當然デア
ル、生産者トシテノ農民、消費者トシテノ
都市住民、此利害得失ノ相反シタモノヲ一
片ノ法律ニ依フテ片ヲ付ケヨウト思ヒマシ
テモ、餘程面倒ナ事件デアリマス、此米ノ
問題ニ對シテ、所謂公益統制的ナ見地カ
ラ、吾々ノ考ヲ申シマスナラバ、勿論其實
行ニ對シマシテハ、非常ニ強イ決心ト、非常
ニ大膽ナ努力ヲ要スルノデアリマスガ、賣
手ニ向テモ損ヲサセナイ、買手ニ向ツテ
モ損ヲサセナイ、モト直接的ニ言ヒマス
レバ、農民ニ對シテハ、生産費ノ補助ヲス
ル、消費者ニ對シテハ、相當程度ノ安物ヲ
消費サス、斯ウ言フタ國家ノ費用ヲ此間ニ
勇敢ニ投下シテ、初メテ米ノ問題ノ解決ガ
付クデアラウト考ヘマスガ、現實ノ政治問
題トシテ、私ハソレヲ申スノデハナイ、
唯斯ウ言フタ考方カラ本法ノ統制觀念ヲ檢
討シマシテ、若シ本法ノ精神ガ吾々ノ謂フ
公益統制ノ精神ニ一步デモ前進スル場合ニ
於テハ、吾々ハ賛成ラスルノラ答マナイ、
唯本法ガ近來流行ノ統制經濟ニカブレテ、
政府ノ責任ヲ糊塗セントスルヤウナ「イン
チキ」統制デアル場合ニ於テハ、吾々ハ斷
じテ敬意ヲ拂フコトハ出來ナイノデアリマ
ス、私ハ此意味ニ於テ本法ノ條文ヲ一讀致
シマジタガ、極メテ不可解ナル點ヲ二點發
見シテ居リマス、第一點ハ、先程仰尋ラシ
マシテ農林大臣ガラ明確ナ御答ガ出來ナイ
ト云フ答辯ヲ得タ最高最低價格ノ値幅ノ問
題デアリマス、世間デハ一石ニ付テ八圓乃
至九圓ノ開キガアルダラウト言フテ居リマ
ス、若シ本法ノ値幅ノ想定ガ一石八圓、九

圓ヲ想像スルコトニナリマスナラバ、何ノ
公定ソヤト言ハザルヲ得ヌ、苟モ公定デア
リマス、公定ハ一ツアフテ、二ツアルモノ
デヤナイ、現行ノ評判ノ惡い率勢米價ト異
ナル所ガナノデアリマス、斯ノ如キ不徹
底ナル公定價格ヲ公定ト云フナラバ、是ハ
公定ノ美名ヲ僭稱スルモノデアル、私ハ政
府ニ向テ強く御考ヲ願ヒタイノデアリマ
ス、米價ノ統制ニ依テ、米價變動ノ値幅
ノ縮小ヲ恐ル、取引所、或ハ取引所ノ背景
ヲ成スノ財閥ニ對シテ、政府ハ相當ニ遠
慮ヲシテ居ルノデハナイカ、相當ノ媚ヲ賣
テ居ルデハナイカ、政府ノ謂フ統制觀念ハ
今日ノ自由主義經濟ヲ何等手著ケルコト
ノ出來ナイ、唯世間胡麻化シノ統制法デハ
ナイカト云フ點デアリマス、兩黨ヲ基礎ニ
スル所ノ所謂非常時内閣ノ諸君ガ、一取引
所ノ財閥ニ迎合スルモノトハ考ヘマセヌカ
レドモ、此議會ノ初メニ當テ政府ハ新聞ヲ
通ジテ發表シテ居タ、此議會ニハ高利貸
征伐法案ヲ出スト言フテ居タ、ソレガ出マ
セヌ、此議會ノ會期ノ済ムマデ出サウモア
リマセヌ、之ニ向テモ世間ハ評判ヲシテ居
ル、アレハ高利貸ノ大キナ背景ヲ成ス財閥
ノ腕ガ政府ニ伸ビタ結果ダト言フテ居ル、果
シテ然ラバ、政府ハ斯ウ云フ問題ニ付テハ、
自分ノ持タ法案ヲ堕胎シタ嫌疑ト、前科ヲ
ノ要求サレテ居ルノデアリマス、ソレハ米
穀法ノ條文ヲ通ジマシテ、罰則規定ニ於テ
穀メテ缺クルモノアルヲ發見スルノデアリ
マス、何故カト下申シマスナラバ、米ノ輸出
入ニ對シマシテハ、政府ハ相當嚴重ナ罰則
ヲ以テ臨シテ居リマス、然ルニ内地米ノ政
府ノ公定相場ヲ素ラントスル行爲ニ對シマ
シテハ、何等ノ罰則規定ガナイ、是ハ畢竟
現ハル、所ノ米ノ値幅ノ問題ニ付テモ、強
イ疑ヲ當然起サネバナラヌノデアリマス、
國民生活ノ必需品タル、農村經濟ノ基本タ
ル米價ヲ投機思惑ノ具ニ供シ、不健全ナル
シテ、吾々ハ眞剣ナル再吟味ヲ必要トシマ
ス、之ヲ此儘ニシテ置イテ何ノ統制經濟デ
アルカト言ハザルヲ得ヌ、而モ世間ノ事實
ヲ見ルナラバ、近年米價ノ値幅ハ自由放任、
公定スペキ米價ヲ素ル行爲ニ對シテ罰則規
定ヲ設ケナイト云フコトガ、果シテ統制觀
念トドウ云フ連絡ヲ持ツカ、之ニ對シマシ

場ノ一例ヲ取テ参リマシテモ、昭和六年米
穀年度ニ於テ、最高最低ノ値幅ハ四圓七十錢
デアリマスガ、昭和七年度米穀年度ニ於ケル、
最高最低ノ値幅ハ五圓九十錢デアリマス、
然ルニ博奕打專門ノ清算市場ニ於テハ、殆
ド此倍ノ値幅ヲ示シテ居ル、投機者流ノ買
占或公賣崩壊等ニ依テ價格ノ變動ヲ來シ、
サウシテ此變動カラ來ル所ノ投機利益ヲ獲
得ハ、斷ジテ社會ノ福祉トハ一致シナイ、
吾々ハ之ニ向テ斷々乎トシテ排擊スルコ
トガ、今日ノ時務ノ中ノ最大ナルモノデア
ルトサヘ考ヘラレルノ統制法デアリマス(拍手)ソ
コデ政府ニ問ウテ置キマスガ、本法ノ値幅
ヲ擴大スルコトハ、依然タル自由主義經濟
ノ最モ惡イ所ヲ維持シヨウトル觀念デア
ルカドウカ、更ニ進ンデ政府ハ今日ノ米穀
ノ取引所ヲ廢止スル意思ハナイカドウカ、
此點デアリマス
更ニ吾々ハ政府ノ統制觀念ニ對シテ、法
制的ナ意味カラ申シマシテモ、一ツノ疑問
ヲ要求サレテ居ルノデアリマス、ソレハ米
穀法ノ條文ヲ通ジマシテ、罰則規定ニ於テ
穀メテ缺クルモノアルヲ發見スルノデアリ
マス、何故カト下申シマスナラバ、米ノ輸出
入ニ對シマシテハ、政府ハ相當嚴重ナ罰則
ヲ維持セントスルニ當テ、政府ノ有スル四
億圓バカシノ融通資金ガ、果シテ完全ニ其
役目ヲ果スカ果サナイカノ質問デアリマ
ス、苟モ現行米穀法ニ代テ、此統制法ヲ
實行セントスル以上ハ、政府ニ於テ相當強
イ決心ノアルコトハ、當然想像サレルノデ
アリマス、併ナガラ是バカシノ資本デ、若
シ取引所或ハ財閥等方大キナ思惑ヲスル
シテ、吾々ハ政府ノ無誠意無責任ナル統制
觀念ノ暴露ヲ見ルコトヲ衷心カラ遺憾ト致
カドウカ、言換へテ言ヘバ、政府ハ第一
段ニ申シマシタ、罰則規定ヲ全然持タズシ
テ、今持ツダケノ資金ニ依テ、果シテ政府
ノ賣向ヒ、相場ノ上ノ買向ヒガ出来ル
カドウカ、言換へテ言ヘバ、政府ハ第一
段ニ申シマシタ、罰則規定ヲ全然持タズシ
テ、今持ツダケノ資金ニ依テ、果シテ政府
ノ考ヘル所期ノ目的ヲ達成スルノニ十分ナ
リト思フカドウカ、此點ニ關シマシテ明確
ナル答辯ヲ要求シテ置キマス(拍手)
更ニ第三ハ一番重要ナ、此法案ニ依テ
テ申シマスナラバ、成ベク廣い意味ニ於テ
ノ値幅ヲ認容スルト云フコト、更ニ政府ノ
ノ考ヘル所期ノ目的ヲ達成スルノニ十分ナ
リト思フカドウカ、此點ニ關シマシテ明確
ナル答辯ヲ要求シテ置キマス(拍手)

更ニ第三ハ一番重要ナ、此法案ニ依テ
村ガ果シテ救ハレルカノ問題デアリマス、
之ニ對シマシテハ生刻村松君ノ質問モアッ
タヤウデアリマシタシ、其一部ニ糊シテ
河野君ノ質問モアフタヤウデアリマシタガ、
私ハ一番大切ナ問題ト考ヘマスカラ、少シ

詳シク申上ゲタインデアリマス、本法ノ實施ニ依テ、農民ハ積極的ニ農村購買力ヲ増進スルコトガ出來ルカノ問題、少クモ消極的ニ、今ノ窮迫貧乏ガ多少デモ緩和サレルカノ問題デアリマス、私達農村非常時ヲ展望スル時ニ、其今日ノ貧乏窮迫ノ大キナ原因ハ、言フマデモナク一ハ農産物ノ聚落デアリ、一ハ農村消費經濟ヲ脅ス所ノ商品ノ脅貴デアリマス、而モ此問題ニ拍車ヲ掛けタノガ、先刻村松君ノ御主張ニナリマシタ鍊状價格差ノ問題デアリマス、少クモ政府ガ、特ニ非常時内閣ノ看板ノ下ニ於ケル政府ガ、農村匡救ニ對シテ相當ニ眞劍ナ決意ヲ持テ居タナラバ、此米穀統制法案ト並行的ニ、不可分ノ關係ニ於テ、重要農産物ノ價格統制ヲ考ヘテ居タ苦デアリマス、然更ニ又農村ノ消費經濟ヲ脅ス所ノ、一般商品ニ對スル價格ノ統制ヲ考ヘテ居タ苦デアリマス、更ニ又「セーレ」ノ問題ノ解決方法トシテ、農村ノ組合運動ニ對シテ、モット真剣ナ方法ヲ考ヘテ居タ苦デアリマス、然ルニ此法案ヲ單リ獨立シテ出シテ、他ノ不可分ノ關係ニアル農村匡救ニ對スル一切ノ法案ヲ忘レタコトニ對シマシテハ、政府ノ責任決シテ輕カラズ思フノデアリマス（拍手）一方ニ於テハ、農林省ト工商省ガ、硫安肥料ヲ問題ニシテ、喧嘩ヲスルト云フ醜態ヲ暴露シテ居ル、是ハ先達ノ東君ノ演説デモ、ハッキリ指摘サレテ居タノデアリマスガ、私共此機會ニ於テ農林大臣ヲ中心ニシテ、政府ノ時局匡救策、特ニ農村匡救策ニ對スルツノ疑問ヲ持ツノデアリマス、ソレハ何カト申シマスレバ、政府ノ經濟運動トシテ世間ニ其存在ヲ認メラレテ居ルモノハ、唯僅ニ農村ノ自力更生運動デアリマス、自力更生トハ何カ、大ニ効ケ、大ニ金ヲ貯メロデアリマセウガ、吾々地方ニ參リマスト、自力更生ノ相談ニ列席シタ縣廳ノ役人、農會ノ幹部、町村ノ首腦者ガ歸ル時ニハ、自力更生ノ會計ニ於テ料理屋ニ上ルヤウナ醜

態ヲ屢々見ルノデアリマスガ、此問題ヲ彼此レ言フノデハナイ、政府ノ謂フ所ノ自力更生運動ノ有ツ經濟的內容ハドウカノ問題デアリマス、結局一生懸命ニ働くテ品物ヲ造ラウデアリマス、同時ニ自分ノ物ハ成ベク使フマノ觀念、言換ヘルナラバ、自力更生的生產増加ト、自力更生的消費節約デアリマス、今日ノ不景氣ノ原因デアル生產ト消費トノ「アン・バランス」ニ更ニ一段ノ拍車ヲ掛ケルモノガ、政府ノ自力更生運動ノ經濟的解決デアルト言ハザルヲ得ヌ、コンナコトヲヤッテ居タラ、益々不景氣ハ深刻ニナリマス、日本ノ農村ハ自力自救的自殺運動ニ陥ルコトガ、ナイトハ言ヘナイ（「其通り」ト呼フ者アリ）少クモ自力更生運動ニ對スル政府ノ經濟的觀念ガ何處ニアルカモ、此機會ニ伺ッテ置キマス

○議長（秋田清君） 静謐ニ
○由谷義治君（續） 此物價騰貴ノ途中ニ於テ、所謂物價上昇期ニ於テ、米ノ相場ダケヲ公定シテ釘付ケサスコトガ、果シテ農民ノ爲ニ得デアルカ、損デアルカ、物ノ高クナル時ニハ「セーレ」ノ開キハアリマシテモ、米モ次第ニ高クナッテ参リマス、此場合特ニ米ダケニ米價ノ統制ヲ考ヘルコトガ、果シテ農村ノ得デアルカ損デアルカ、極メテ重ナル問題デアリマス、現ニ農家ハ米ノ相場ヲ公定シテ貰テモ、肥料ガ高クナレバ困

テト云フ條項ヲ入レテ居リマス、更ニ又テ自分ノ運動ノ有ツ經濟的內容ハドウカノ問題デアリマス、結局一生懸命ニ働くテ品物ヲ造ラウデアリマス、同時ニ自分ノ物ハ成ベク使フマノ觀念、言換ヘルナラバ、自力更生的生產増加ト、自力更生的消費節約デアリマス、今日ノ不景氣ノ原因デアル生產ト消費トノ「アン・バランス」ニ更ニ一段ノ拍車ヲ掛ケルモノガ、政府ノ自力更生運動ノ經濟的解決デアルト言ハザルヲ得ヌ、コンナコトヲヤッテ居タラ、益々不景氣ハ深刻ニナリマス、日本ノ農村ハ自力自救的自殺運動ニ陥ルコトガ、ナイトハ言ヘナイ（「其通り」ト呼フ者アリ）少クモ自力更生運動ニ對スル政府ノ經濟的觀念ガ何處ニアルカモ、此機會ニ伺ッテ置キマス

スルニ付テハ、從來ノ米ノ生產費ト家計費ノ外ニ、新ニ物價其他ノ經濟事情ヲ參酌シテト云フ條項ヲ入レテ居リマス、更ニ又テ自分ノ運動ノ有ツ經濟的內容ハドウカノ問題デアリマス、結局一生懸命ニ働くテ品物ヲ造ラウデアリマス、同時ニ自分ノ物ハ成ベク使フマノ觀念、言換ヘルナラバ、自力更生的生產増加ト、自力更生的消費節約デアリマス、今日ノ不景氣ノ原因デアル生產ト消費トノ「アン・バランス」ニ更ニ一段ノ拍車ヲ掛ケルモノガ、政府ノ自力更生運動ノ經濟的解決デアルト言ハザルヲ得ヌ、コンナコトヲヤッテ居タラ、益々不景氣ハ深刻ニナリマス、日本ノ農村ハ自力自救的自殺運動ニ陥ルコトガ、ナイトハ言ヘナイ（「其通り」ト呼フ者アリ）少クモ自力更生運動ニ對スル政府ノ經濟的觀念ガ何處ニアルカモ、此機會ニ伺ッテ置キマス

○モウ宜カラウ 「要點ヲ言へ」 其他發言スル者多シ

○議長（秋田清君） 静謐ニ
○由谷義治君（續） 此物價騰貴ノ途中ニ於テ、所謂物價上昇期ニ於テ、米ノ相場ダケヲ公定シテ釘付ケサスコトガ、果シテ農民ノ爲ニ得デアルカ、損デアルカ、物ノ高クナル時ニハ「セーレ」ノ開キハアリマシテモ、米モ次第ニ高クナッテ参リマス、此場合特ニ米ダケニ米價ノ統制ヲ考ヘルコトガ、果シテ農村ノ得デアルカ損デアルカ、極メテ重ナル問題デアリマス、現ニ農家ハ米ノ相場ヲ公定シテ貰テモ、肥料ガ高クナレバ困

テト云フ條項ヲ入レテ居リマス、更ニ又テ自分ノ運動ノ有ツ經濟的內容ハドウカノ問題デアリマス、結局一生懸命ニ働くテ品物ヲ造ラウデアリマス、同時ニ自分ノ物ハ成ベク使フマノ觀念、言換ヘルナラバ、自力更生的生產増加ト、自力更生的消費節約デアリマス、今日ノ不景氣ノ原因デアル生產ト消費トノ「アン・バランス」ニ更ニ一段ノ拍車ヲ掛ケルモノガ、政府ノ自力更生運動ノ經濟的解決デアルト言ハザルヲ得ヌ、コンナコトヲヤッテ居タラ、益々不景氣ハ深刻ニナリマス、日本ノ農村ハ自力自救的自殺運動ニ陥ルコトガ、ナイトハ言ヘナイ（「其通り」ト呼フ者アリ）少クモ自力更生運動ニ對スル政府ノ經濟的觀念ガ何處ニアルカモ、此機會ニ伺ッテ置キマス

スルニ付テハ、從來ノ米ノ生產費ノ負擔カラ遠ザカッテト云フ條項ヲ入レテ居リマス、更ニ又テ自分ノ運動ノ有ツ經濟的內容ハドウカノ問題デアリマス、結局一生懸命ニ働くテ品物ヲ造ラウデアリマス、同時ニ自分ノ物ハ成ベク使フマノ觀念、言換ヘルナラバ、自力更生的生產増加ト、自力更生的消費節約デアリマス、今日ノ不景氣ノ原因デアル生產ト消費トノ「アン・バランス」ニ更ニ一段ノ拍車ヲ掛ケルモノガ、政府ノ自力更生運動ノ經濟的解決デアルト言ハザルヲ得ヌ、コンナコトヲヤッテ居タラ、益々不景氣ハ深刻ニナリマス、日本ノ農村ハ自力自救的自殺運動ニ陥ルコトガ、ナイトハ言ヘナイ（「其通り」ト呼フ者アリ）少クモ自力更生運動ニ對スル政府ノ經濟的觀念ガ何處ニアルカモ、此機會ニ伺ッテ置キマス

○モウ宜カラウ 「要點ヲ言へ」 其他發言スル者多シ

○議長（秋田清君） 静謐ニ
○由谷義治君（續） 此物價騰貴ノ途中ニ於テ、所謂物價上昇期ニ於テ、米ノ相場ダケヲ公定シテ釘付ケサスコトガ、果シテ農民ノ爲ニ得デアルカ、損デアルカ、物ノ高クナル時ニハ「セーレ」ノ開キハアリマシテモ、米モ次第ニ高クナッテ参リマス、此場合特ニ米ダケニ米價ノ統制ヲ考ヘルコトガ、果シテ農村ノ得デアルカ損デアルカ、極メテ重ナル問題デアリマス、現ニ農家ハ米ノ相場ヲ公定シテ貰テモ、肥料ガ高クナレバ困

テト云フ條項ヲ入レテ居リマス、更ニ又テ自分ノ運動ノ有ツ經濟的內容ハドウカノ問題デアリマス、結局一生懸命ニ働くテ品物ヲ造ラウデアリマス、同時ニ自分ノ物ハ成ベク使フマノ觀念、言換ヘルナラバ、自力更生的生產増加ト、自力更生的消費節約デアリマス、今日ノ不景氣ノ原因デアル生產ト消費トノ「アン・バランス」ニ更ニ一段ノ拍車ヲ掛ケルモノガ、政府ノ自力更生運動ノ經濟的解決デアルト言ハザルヲ得ヌ、コンナコトヲヤッテ居タラ、益々不景氣ハ深刻ニナリマス、日本ノ農村ハ自力自救的自殺運動ニ陥ルコトガ、ナイトハ言ヘナイ（「其通り」ト呼フ者アリ）少クモ自力更生運動ニ對スル政府ノ經濟的觀念ガ何處ニアルカモ、此機會ニ伺ッテ置キマス

モザイマシタガ、生産費ノ問題ニ付テハ、從來ノ農林省ノヤツテ居ル遺方デ、大體適當ト認メルト云フ御話ガアタガ、此基準ノ價格ニナル所ノ生産費ガグラ付キマスルコトハ、米ヲ賣リマスル者、買ヒマスル者ニ取テ、大分影響ガ大キト思フノデフリマス

ガ、從來ノ生産費ノ調べ方――其内容シテハ、材料費、労力費、原價償却費、地代、斯ウ云フ四ツノ條項ヲ大體内容ト致シマシテ、生産費ヲ持ヘテ居ルヤウデアリマスガ、實ハ其内容ノ中デ最、モ困難ナモノハ、後藤農林大臣モ御承知ノヤウニ、肥料ノ中デモ、自家肥料ヲドウ云フヤウニ評價スルカ、家族ノ勞働賃銀ヲドウ云フヤウニ評價スルカ、土地資本利子ノ評價ヲドウ云フ標準デヤルノカ、斯ウ云フ三ツノ點ハ非常ニ困難ナ問題デアリマシテ、此困難ナ點ヲ權威アル所ノ人達ガ適當ニ決メテ居ルト云フノデアリマスルガ、一體自家肥料ノ評價、家庭ノニ付テ、ドウ云フヤウナ標準ヲ以テ農林省ハオ遣リニナシ居ルノアルカ、譬へテ申シマスト云フト、自給肥料ノ評價付テハ、大工原銀太郎博士ノヤウナ専門家ガ立テ、居ル方法ヲ採テ居ルノカドウカ、地代論ノ如キハ申スマデモナイヤウニ、隨分ト面倒ナ意見デアルヤウデアリマスガ、ソレヲ唯小作料ト云フヤウナ、單純ナ目安カラシテ決メテ居ルノカドウカ、此決メ方如何ニ依テ大分基準價格ニ相違ガ出テ來マスノデ、私共ハ篤ト此點ヲ伺テ置カナケレバ、先刻ノ御話ノヤウニ、是ガ本當ニ農村ノ救濟ナルカドウカト云フ問題ニ、影響シテ來ル

ト思フノデアリマス、ソレカラ政府ハ、第四條ニ於キマシテ、道府縣カラ他ニ移出スル場合、或ハ朝鮮、臺灣カラ内地ニ移出スル場合、月別デ平均ニスルト云フコトデアリマスガ、單ナル是ハ縣ダケノ移出入ヲ統制スルト云フコトダケデ、果シテ本當ニ米ヲ大キクシテ、丁度米專賣私案ニ、胎中サ

ンガ御話ニナシテ居ルヤウニ、日本全國ヲ九ツナリ、十ノ區分ノヤウニ區分致シマシテ、其中ニアル所ノ米ノ過不足ヲ旨ク統制スルト云フヤウナ方法デナクシテハ、統制ハ出來ナイデハナイカ、又月々ニ賣ルト云フコトデアタナラバ、先ノ山谷サンノ御話ニアリマシタガ、本當ノ勤勞農民ハ十二月、一月、二月、斯ウ云フ三箇月間ニ大部分ノ米ヲ賣ルノデアリマスカラ、其恩典ニ浴シ、又ソレニ依シテ本當ノ統制ノ恩惠ヲ受ケルコトハ出來ルカドウカ、私ハ斯ウ云フヤウナ點ニ付テ御伺致シタイ、マヌスル點モアリマスカラ、是デ私ノ質問ヲ終テ置キタイト思ヒマス

(國務大臣後藤文夫君登壇)

○議長(秋田清君) 案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉外國爲替管理法案 第二讀會付テハ、更ニ十分ナ攻究ヲ遂ゲテ、改善ヲスル場合、月別デ平均ニスルト云フコトデアリマス、唯、今御舉グニナシタ個人ノ項目ニ付テノ御意見ニ付テハ、今直チニ何トモ申

付キ點ガアレバ、改善ヲ致シタイ積リテ居リマス、又考慮スペキ點モアルヤウニ思ヒマス、ソレカラ最後ノ月別平均的ナラシムルヤウニ、數量ヲ調節シテ行クト云フコトハ、唯道府縣ト云フヤウナコトデハイカヌ、モット大キイ區域デヤツカ方ガ宜イデハナイカ、ソレモ一ツノ御意見デアルヤウニ思ヒマス、併ナガラ今吾々ガ行ハウトシテ居ル季節的出廻ノ調節ヲ致スノニハ、各道府縣及朝鮮、臺灣等ノ、管外移出ノ數量ト云フモノハ、過去ノ經驗等カラ剰出しシマシテ、凡ソ月別平均的ニ市場ニ米ガ参りマスヤウニ按排ヲシテ、一ツノ標準ニ依シテ米ノ買入ヲヤリ、又ガ達セラレルノデ、ソレヲ以テ先づ満足シテ宜カラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ勧議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ――日程第十一、外國爲替管理法案ノ第一讀會ヲ開キマス――大藏大臣高橋是清君

第十 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

ガ最キ右力ナル案デアルト、斯ウ考ヘテ出シタノデアルト申シタノデアリマス――日程第十、右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○國務大臣(後藤文夫君) 專賣案、管理案、其幾多ノ案ガ當局ニ於テモ、調査會ニ於テモ研究サレタノデアリマス、調查會ノ結果トシテ答申ニナリマシタ、政府ノ立案ノ在ノ事情及將來ノ事情ノ下ニ實行ヲスルコトノ出來ル最も有力ナ案デアルト考ヘラレタ譯デアリマス、サウ云フ趣旨デ此案ヲ提案スルコトニナリマシタ現在ノ米穀統制案ハ、現

第一條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル取引又ハ行爲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第一、外國通貨又ハ外國爲替ノ取得又ハ

外國爲替管理法
外國爲替管理法案

第十一 外國爲替管理法案(政府提出)
第一讀會

○議長(秋田清君) 案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○國務大臣(後藤文夫君) 色々ナ案ニ付テ可否ヲ、理想的ニ、又ハ理論的ニ彼此レト私ハ申上ガタノデハアリマセヌ、實行シ得ベキ案トシテ、只今提案致シマシタモノ

二 通貨、金地金、金ノ合金若ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ輸出又ハ金貨幣ノ鑄潰又ハ毀傷

三 外國ニ對スル送金ニシテ前二號ニ包含スル方法ニ依ラザルモノ

四 外國ニ於テ爲シタル委託ニ基キ本邦内ニ於テ爲ス支拂

五 外國爲替相場ノ取扱
六 外國通貨ヲ以テ表示スル證券、債
權又ハ債務ノ取得又ハ處分

七 信用狀ノ發行又ハ取得
八 外國居住者ニ信用ヲ與フル行爲
九 證券ノ輸出又ハ輸入
十 價額ノ全部又ハ一部ニ付外國爲替
ヲ取組マザル貨物ノ輸出

第二條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前

條ノ禁止又ハ制限ニ關係アル事項ニ付

報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査ヲ行
フコトヲ得
ニ限定スルコトヲ得

第三條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ外
國爲替ニ關係アル事項ニ付

政府ノ指定スル者ヲ相手方トスル場合
又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基
キテ發スル命令ニ依リ政府ニ提出スル
許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛偽ノ記
載ヲ爲シタル者亦同ジ

第六條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ
代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ
法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前條ノ違反
行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スル
ノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前條ノ罰
金刑ヲ科ス

第七條 本法ノ罰則ハ本法施行地ニ本店
又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表
者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ
本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ
之ヲ適用ス本邦施行地ニ住所ヲ有スル
人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從
業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行
以テ之ヲ定ム

第五條 第一條又ハ第三條ノ規定ニ基キ
テ發スル命令ヲ以テ規定スル取引又ハ行
爲ノ禁止又ハ制限ニ違反シタル者ハ三
年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ一萬圓以下
ノ罰金ニ處ス但シ當該取引又ハ行爲ノ
目的物ノ價額ノ三倍ガ一萬圓ヲ超ユル
トキハ罰金ハ當該價額ノ三倍以下ト

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
附 則

○國務大臣高橋是清（登壇）
只今議題トナリ
マシタ外國爲替管理法案ニ付キ提案ノ理由
ヲ説明致シマス、本邦ノ對外爲替相場ハ、
反シ報告ヲ爲サズ、虚偽ノ報告ヲ爲シ、
禁錮又ハ當該金地金其ノ他ノ價額ノ二
倍以下ノ罰金ニ處ス

第二條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違
禁錮又ハ當該金地金其ノ他ノ價額ノ二
倍以下ノ罰金ニ處ス

（國務大臣高橋是清（登壇）
前條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ依ル
金地金其ノ他ノ處分シ又ハ賣却スペキ旨
ノ政府ノ命ニ從ハザル者ハ一年以下ノ
禁錮又ハ當該金地金其ノ他ノ價額ノ二
倍以下ノ罰金ニ處ス

マシタ、爲替相場ノ斯ノ如キ低落ハ、我方
國際貸借ノ現状ニ照シテ、其實勢ニ副ハザ
ルモノト言ハネバナリマセヌ、是ハ主トシ
テ現下ノ國際關係ノ不安ト、通貨増發ノ懸
念等ヲ多分ニ織込ミタル一種ノ人氣相場デ
アリマシテ、若シ何等ノ對策モ講ゼズ、之
ヲ各人ノ自由ニ放任シテ置キマシタラバ、
資本ノ外國逃避ト、圓ニ對スル内外ノ思惑
トニ依リ、爲替相場ノ低落動搖ハ、今日ヨ
リ遙ニ甚シカフタノデハナイカト考ヘルノ
デアリマス、幸ニシテ曩ニ第六十二議會ノ
御協賛ヲ經テ、昨年七月ヨリ施行致シタル資
本逃避防止法ガ、能ク其效果ヲ奏シ、資本ノ
本逃避防止法ガ、能ク其效果ヲ奏シ、資本ノ
度ニ阻止シ得タコトハ、邦家ノ爲メ慶ブベキ
コト、信シテ居る次第デアリマス、併ナガラ
ノ外貨債買付ノ形ニ於ケル、資本ノ流出ヲ防
止スルコトヲ主張トシテ、外國貿易其他正當
ノ取引ニハ、成ベク障礙又ハ煩累ヲナカラ
シメンコトヲ旨ト致シマシタノデアリマス
ルカラ、爲替ノ思惑取引ヲ排除シ、或ハ資
本の逃避防止ノ徹底ヲ期スル上ニハ、尙ホ
遺憾トスル點ガ少クナイノデアリマス、加
之國際經濟關係ノ現状ヲ見マスルニ、大多
數ノ國家ハ爲替管理又ハ貿易管理ヲ行ヒ、
或ハ關稅ヲ高クナラシムル爲ニ種々ノ手段
ヲ講ジテ、自國產業經濟ノ保護ヲ圖ルニ
デアリマス、故ニ本來カラ申シマスルナラ
バ、金ノ再禁止ノ法律ヲ出ス時ニ、必

ニ豫測シ得ザルモノガアリマス、我國ニ於
キマシテモ、將來世界經濟ノ動キニ應ジ、
相當ノ對策ヲ講ズルノ必要ガ生ズルコトモ
豫期シナケレバナリマセヌ、以上ノ理由ニ
依リマシテ、政府ハ内外情動ノ推移ニ應ジ
命令ヲ以テ外國爲替取引ノ全般ニ瓦リ、適
當ナル取締ヲ爲シ得ベキ權限ヲ得テ置クノ
必要ガアリマスノデ、茲ニ本法案ヲ提出シ
タ次第アリマス、尙ホ金ノ輸出ニ付テハ、
從來大藏省々令其他ノ命令ヲ以テ取締ッテ
居リマシタガ、其罰則ノ輕キニ失シ、取締
上遺憾トスル所ガアリマスノデ、更メテ本
法中ニ之ヲ規定シ、以テ違反ニ對シ嚴罰ヲ
以テ臨ミ得ルノ途ヲ開クコトニ致シマシ
タ、何卒御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致
シマス（拍手）

○議長（秋田清君） 是ヨリ通告順ニ依リ質
疑ヲ許シマス——武田徳三郎君
(武田徳三郎君登壇)

○武田徳三郎君 諸君、爲替ノ變動ガ我ガ
經濟ニ重大ノ影響ノアルコトハ申ス迄モア
リマセヌ、今外國爲替管理法案提案ノ理由
ヲ大藏大臣ヨリ承リマシタ、先づ大藏大臣
ガ我國ノ爲替政策ニ對シテ、如何ナル根本
上ノ御所見ヲ御持チニナルカト云フコトノ
二三ヲ簡單ニ御伺ヲ致シマシテ、其内容ニ
互ツタ詳細ナルコトハ委員會ニ於テ伺フコ
トニ致シタトイ存ジマス
私ガ申上ゲル迄モナク、金ノ輸出ヲ禁止
致シタト云フコトハ、金貨本位ノ自働的調
整ヲ拋フタト云フコトデアリマス、ソレ故ニ
金ヲ再禁止致シマシタ場合ニ於テハ、爲替
ガ下落スルト云フコトハ當然ノ事デアルノ
デアリマス、故ニ本來カラ申シマスルナラ
バ、金ノ再禁止ノ法律ヲ出ス時ニ、必

ズ爲替管理ノ法案ガ之ニ件フノガ相當デア
ルト私ハ思フノデアリマス(拍手)併シ我ガ
高橋大藏大臣ハ、爲替ニ對シテハ放任主義
ヲ執ルト云フヤウニ承^テ居ルノデアリマ
スルガ、是ハ敢テ更メテ左様ナコトヲ茲ニ
御聲明ニナッタ譯デハアリマセヌケレドモ、
先日ノ本會議ニ於ケル大口君ノ質問ニ對ス
ル御答辯ヲ承^テモ、又川崎君ノ質問ニ對スル
私ハ思フノデアリマス、是ニ於テ私ハ一ツ
承^テ見タイノデアリマス

第一ニ承^テ見タイコトハ、大藏大臣ハ此
爲替管理法案ヲ實施スル上ニ於テ、如何ナ
ル效果ヲ御期待ニナッテ居ルカト云フコト
ヲ承^テタノムアリマス、之ヲ別ノ言葉ヲ
以テ申シマスルナラバ、爲替ノ安定ヲ此法
案ニ依^テ御期待ニハナラヌノデアラウカ
ト、斯様ナコトヲ承ルノデアリマス、大藏
大臣ハ屢々爲替ト云フモノハ安定スルコト
ハ出來ナイモノデアル、一國ノ貨幣ト他ノ
貨幣トノ比較デアルガ故ニ、一國ノ貨幣ノ
價値ヲ安定セシメテモ、相手方ノ國ノ貨幣
ガ動ク場合ニ於テハ安定ハ困難デアル、况
ヤ今日ハ世界ノ大部分ノ國ガ、金ノ輸出ヲ
禁止シテ居ルノデアルガ、日本ノ貨幣ノ價
値ヲ何レノ國ヲ相手トシテ安定スルカ、恰
モ暖簾ト腕押ヲスルガ如キモノデアル、
斯様ニ仰セラレテ、サウシテ只今ノ提
案ノ理由ノ中ニ於キマシテモ、本案ハ思
惑ニ因ル所ノ騰貴竝ニ思惑ニ因ル所ノ資
本ノ逃避ト云フコトヲ防^テ爲デアル、前ノ
資本逃避防止法デハ未だ徹底セザル所ガア
ル、故ニ擴大強化シテ此ニツラ防^テグノ
デアル、斯様ニ仰セラレタノデアリマス、
サウシマスト爲替ヲ或點ニ於テ安定スルコ

トハ本案ノ目的デナタ、サス様ナルコトハ
出來得ベキコトデナイト云フヤウナ、御意
見ノヤウニ承^テ居ルノデアリマス、私ハ此
御答辯ヲ承^テモ、左様ナ御考デアルヤニ
爲替管理法案ヲ實施スル上ニ於テ、如何ナ
ル效果ヲ御期待ニナッテ居ルカト云フコト
ヲ承^テタノムアリマス、之ヲ別ノ言葉ヲ
以テ申シマスルナラバ、爲替ノ安定スルコト
ハ出來ナイモノデアル、一國ノ貨幣ト他ノ
貨幣トノ比較デアルガ故ニ、一國ノ貨幣ノ
價値ヲ安定セシメテモ、相手方ノ國ノ貨幣
ガ動ク場合ニ於テハ安定ハ困難デアル、況
ヤ今日ハ世界ノ大部分ノ國ガ、金ノ輸出ヲ
禁止シテ居ルノデアルガ、日本ノ貨幣ノ價
値ヲ何レノ國ヲ相手トシテ安定スルカ、恰
モ暖簾ト腕押ヲスルガ如キモノデアル、
斯様ニ仰セラレテ、サウシテ只今ノ提
案ノ理由ノ中ニ於キマシテモ、本案ハ思
惑ニ因ル所ノ騰貴竝ニ思惑ニ因ル所ノ資
本ノ逃避ト云フコトヲ防^テ爲デアル、前ノ
資本逃避防止法デハ未だ徹底セザル所ガア
ル、故ニ擴大強化シテ此ニツラ防^テグノ
デアル、斯様ニ仰セラレタノデアリマス、
サウシマスト爲替ヲ或點ニ於テ安定スルコ

トハ本議院ノ目的デナタ、サス様ナルコトハ
出來得ベキコトデナイト云フヤウナ、御意
見ノヤウニ承^テ居ルノデアリマス、私ハ此
御答辯ヲ承^テモ、左様ナ御考デアルヤニ
爲替管理法案ヲ實施スル上ニ於テ、如何ナ
ル效果ヲ御期待ニナッテ居ルカト云フコト
ヲ承^テタノムアリマス、之ヲ別ノ言葉ヲ
以テ申シマスルナラバ、爲替ノ安定スルコト
ハ出來ナイモノデアル、一國ノ貨幣ト他ノ
貨幣トノ比較デアルガ故ニ、一國ノ貨幣ノ
價値ヲ安定セシメテモ、相手方ノ國ノ貨幣
ガ動ク場合ニ於テハ安定ハ困難デアル、況
ヤ今日ハ世界ノ大部分ノ國ガ、金ノ輸出ヲ
禁止シテ居ルノデアルガ、日本ノ貨幣ノ價
値ヲ何レノ國ヲ相手トシテ安定スルカ、恰
モ暖簾ト腕押ヲスルガ如キモノデアル、
斯様ニ仰セラレテ、サウシテ只今ノ提
案ノ理由ノ中ニ於キマシテモ、本案ハ思
惑ニ因ル所ノ騰貴竝ニ思惑ニ因ル所ノ資
本ノ逃避ト云フコトヲ防^テ爲デアル、前ノ
資本逃避防止法デハ未だ徹底セザル所ガア
ル、故ニ擴大強化シテ此ニツラ防^テグノ
デアル、斯様ニ仰セラレタノデアリマス、
サウシマスト爲替ヲ或點ニ於テ安定スルコ

トハ本議院ノ目的デナタ、サス様ナルコトハ
出來得ベキコトデナイト云フヤウナ、御意
見ノヤウニ承^テ居ルノデアリマス、私ハ此
御答辯ヲ承^テモ、左様ナ御考デアルヤニ
爲替管理法案ヲ實施スル上ニ於テ、如何ナ
ル效果ヲ御期待ニナッテ居ルカト云フコト
ヲ承^テタノムアリマス、之ヲ別ノ言葉ヲ
以テ申シマスルナラバ、爲替ノ安定スルコト
ハ出來ナイモノデアル、一國ノ貨幣ト他ノ
貨幣トノ比較デアルガ故ニ、一國ノ貨幣ノ
價値ヲ安定セシメテモ、相手方ノ國ノ貨幣
ガ動ク場合ニ於テハ安定ハ困難デアル、況
ヤ今日ハ世界ノ大部分ノ國ガ、金ノ輸出ヲ
禁止シテ居ルノデアルガ、日本ノ貨幣ノ價
値ヲ何レノ國ヲ相手トシテ安定スルカ、恰
モ暖簾ト腕押ヲスルガ如キモノデアル、
斯様ニ仰セラレテ、サウシテ只今ノ提
案ノ理由ノ中ニ於キマシテモ、本案ハ思
惑ニ因ル所ノ騰貴竝ニ思惑ニ因ル所ノ資
本ノ逃避ト云フコトヲ防^テ爲デアル、前ノ
資本逃避防止法デハ未だ徹底セザル所ガア
ル、故ニ擴大強化シテ此ニツラ防^テグノ
デアル、斯様ニ仰セラレタノデアリマス、
サウシマスト爲替ヲ或點ニ於テ安定スルコ

トハ本議院ノ目的デナタ、サス様ナルコトハ
出來得ベキコトデナイト云フヤウナ、御意
見ノヤウニ承^テ居ルノデアリマス、私ハ此
御答辯ヲ承^テモ、左様ナ御考デアルヤニ
爲替管理法案ヲ實施スル上ニ於テ、如何ナ
ル效果ヲ御期待ニナッテ居ルカト云フコト
ヲ承^テタノムアリマス、之ヲ別ノ言葉ヲ
以テ申シマスルナラバ、爲替ノ安定スルコト
ハ出來ナイモノデアル、一國ノ貨幣ト他ノ
貨幣トノ比較デアルガ故ニ、一國ノ貨幣ノ
價値ヲ安定セシメテモ、相手方ノ國ノ貨幣
ガ動ク場合ニ於テハ安定ハ困難デアル、況
ヤ今日ハ世界ノ大部分ノ國ガ、金ノ輸出ヲ
禁止シテ居ルノデアルガ、日本ノ貨幣ノ價
値ヲ何レノ國ヲ相手トシテ安定スルカ、恰
モ暖簾ト腕押ヲスルガ如キモノデアル、
斯様ニ仰セラレテ、サウシテ只今ノ提
案ノ理由ノ中ニ於キマシテモ、本案ハ思
惑ニ因ル所ノ騰貴竝ニ思惑ニ因ル所ノ資
本ノ逃避ト云フコトヲ防^テ爲デアル、前ノ
資本逃避防止法デハ未だ徹底セザル所ガア
ル、故ニ擴大強化シテ此ニツラ防^テグノ
デアル、斯様ニ仰セラレタノデアリマス、
サウシマスト爲替ヲ或點ニ於テ安定スルコ

トハ本議院ノ目的デナタ、サス様ナルコトハ
出來得ベキコトデナイト云フヤウナ、御意
見ノヤウニ承^テ居ルノデアリマス、私ハ此
御答辯ヲ承^テモ、左様ナ御考デアルヤニ
爲替管理法案ヲ實施スル上ニ於テ、如何ナ
ル效果ヲ御期待ニナッテ居ルカト云フコト
ヲ承^テタノムアリマス、之ヲ別ノ言葉ヲ
以テ申シマスルナラバ、爲替ノ安定スルコト
ハ出來ナイモノデアル、一國ノ貨幣ト他ノ
貨幣トノ比較デアルガ故ニ、一國ノ貨幣ノ
價値ヲ安定セシメテモ、相手方ノ國ノ貨幣
ガ動ク場合ニ於テハ安定ハ困難デアル、況
ヤ今日ハ世界ノ大部分ノ國ガ、金ノ輸出ヲ
禁止シテ居ルノデアルガ、日本ノ貨幣ノ價
値ヲ何レノ國ヲ相手トシテ安定スルカ、恰
モ暖簾ト腕押ヲスルガ如キモノデアル、
斯様ニ仰セラレテ、サウシテ只今ノ提
案ノ理由ノ中ニ於キマシテモ、本案ハ思
惑ニ因ル所ノ騰貴竝ニ思惑ニ因ル所ノ資
本ノ逃避ト云フコトヲ防^テ爲デアル、前ノ
資本逃避防止法デハ未だ徹底セザル所ガア
ル、故ニ擴大強化シテ此ニツラ防^テグノ
デアル、斯様ニ仰セラレタノデアリマス、
サウシマスト爲替ヲ或點ニ於テ安定スルコ

ノデナイ、斯様ナル御説明デアラタノデアリマス、大藏大臣ノ此御説明ハ、或點ニ於テ吾々ハ了解ヲ致スコトハ出來マス、惟フニ川崎君竝ニ民政黨ノ諸君ハ、高橋大藏大臣ノ此御説明ニ於テ深ク教ヘラル、所ガアラタデアラウト思フ(ノード)併ナガラ私ハ半バハ大藏大臣ノ御説明ハ適切デアリマスルシ、民政黨ノ蒙ヲ啓クニ十分デアタトハ思ヒマスケレドモ、又少シク御考へ落シノコトガナカツタデアラウカト存ジマス、何故ナラバ大藏大臣御自身ガ、滿洲事件ガ紛糾シテ來タ事柄ガ、我國ノ爲替相場下落ノ重大ナル原因デアルト仰シヤル以上、財政ノ均衡ヲ得ナイト云フコトハ、少シモ爲替相場ニ影響ガ無イト仰シヤルコトハ、ドウシテモ辻棟ガ合ハヌノデアリマス、滿洲問題ガ非常ニ面倒ニコンガラカツテ來テ、ソレガ爲替相場ノ下落ノ原因ニナカタト云フコトハ、如何ナル事ヲ意味スルノデアリマセウカ、滿洲問題ノ將來ノ淮義ノ爲ニ、我國ハ非常ナ澤山ノ公債ヲ出サナクテハナラヌデアラウ、其結果「インフレーション」ガ起ルデアラウ、斯様ナ意味合ニ於テ、ソレガ織込マレテ、我國ノ爲替相場下落ノ原因ニナカタノデハアリマスマイカ、是ハ私一個ノ意見デナイ、英國ノ最モ信頼スペキ有力ナル「スタチスト」ト云フ雑誌ノ主筆モ、同一ノ事ヲ十月カ十一月ノ、我國ノ爲替ガ將ニ二十弗ノ關門ヲ破ラントシタ其時ニ、彼ハ其雜誌ニ於テ斯様ナ意味ノコトヲ申シテ居リマス、日本帝國ハ支那ガ他日統一ヲ保ッタ場合ニ於テハ、滿洲ヲ背負込ンデ、其爲ニ非常ナ困難ニ陥ルデアラウ、況ヤ満洲ハ廣漠ノ地アリ、今日非常ニ荒廢シテ居ル、之ヲ整理シテ相當ナモノニ復活セシムル迄ニハ、

非常ナ財政上ノ負擔ヲシナケレバナルマイ、況ヤ滿洲問題ニ付テハ、日本ハ他ノ帝國主義ノ國家ト對立スルノ已ムヲ得ナイヤウナ事情が起テ來ルデアラウ、斯様ナ場合ニ於テ日本ノ豫算難ト云フモノハ、恐ルベキ事ニ相成ルデアラウ、今日ノ日本ノ爲替ガ非常ニ下落シタト云フコトハ、此事實ヲ證明スルモノデアルト云フコトヲ、彼ハ言テ居ルノデアリマス、私ハ此「スタチスト」ノ議論ハ、全ク理由アルト事デアラウト思フノデアリマス、斯様ニ考ヘマスト、大藏大臣ガ此爲替下落ノ原因ニ向テ、財政上ノ關係ガ無イ、財政的ノ均衡ヲ得テ居ルカ否カト云フコトハ、何等ノ關係ガ無イト云フコトハ、一面ノ眞理デアルト同時ニ、更ニ深ク御考ヘヲ願ヒマスレバ、必シモ全面ノ眞理デナイト云フコトモ、御了解下サルデアラウト思フノデアリマス、併ナガラ此問題ニ對シマシテハ、或ハ吾々ト大藏大臣トハ、全然所見ヲ異ニスルカモ知レマセヌガ、我黨ハ既ニ豫算案議ノ際ニ當テ附帶決議ヲ致シテ居リマス、財政ノ健全ナル組織ヲ得ルニ非ザレバ、總テノ經濟界ニ向テ進歩發達ヲ期セラレザルノミナラズ、我國ノ今日最モ意義合ニ於テ、即チ財政的建直ヲ其附帶決議ニ於テ要求シタル所以ノモノハ、今申上げタヤウナ意味カラ出發ヲ致シタモノデアルノデアリマス、仍テ此點ニ付テ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、是ガ第三點デアリマス

第四點ニ於キマシテ、私ハ爲替管理ノ内容ニ付テ少シク御伺ヲ致シタモノデアルノデアリマス、私ノ所見ヲ以テ致シマスレバ、第一ト第二ノ、即チ資本ノ逃避ヲ防グ途、ヘルト云フコトデナケレバナラス、斯ウ思フノデアリマス、然ルニ今御提出ニナシテ居ル所ノ提案ヲ拜見致シマスルト云フト、茲ニ爲替投機ヲ阻止スルノ途ハ、殆ド遺憾ノク記載サレテアルト言テモ宜イト思フノデアリマスルガ、第三ノ輸出入ノ統制ニ付テハ、極メテ不十分ノヤウニ感ゼラル、ノデアリマス、或ハ政府ハ此第一條ノ第一號ニ於テ、外國爲替ノ取得又ハ處分、第七號ニ於テ信用狀ノ發行又ハ取得、此二ツノ條項ニ依テ、或ル程度マデ輸出入ヲ統制シ得ルト云フ御者デアルカモ知レマセヌガ、成程爲替ノ取得ト云フモノ、賣買ト云フモノヲ、之ヲ制限禁止スルト云フコトニ致シテ居リマス、財政ノ健全ナル組織ヲ得ルニ非ザレバ、總テノ經濟界ニ向テ進歩發達ヲ成程爲替ノ取得ト云フモノ、賣買ト云フモノヲ、之ヲ制限禁止スルト云フコトニ向テ、相當ノ制限、ヨ加ヘルト云マスルナラバ、輸入ヲ或ル程度マデ阻止スルコトハ出来マセウ、又信用狀ノ發行ト云マスルナラバ、輸入ヲ或ル程度マデ阻止スルコトハ出来マセウ、又信用狀ノ發行ト云トロール「スルコトモ出來ルデアリマセウ、併ナガラ是ハ全然手心ニ屬スルモノデアリマス、甚ダ不完全ナモノデアリマス、若シ當局者ガ適當ナル措置ヲ執ラナカツナラバ、此輸出入ノ商人ニ向テ如何ナル損害、如何ナル迷惑ヲ與ヘルカ分ラナイ事柄デアラウト思フノデアリマス、ノミナラズ此間接的ノ統制デハ、決シテ十分ノ事ハ行ハル、譯ノモノデハナカラウト私ハ思フノデアリマス、ノミナラズ斯様ナ重大ナル利害關係ヲ規定スル場合ニ於キマシテ、眞ニ大藏大臣期待スルカ、爲替ノ安定ヲ期待スルヤ、斯

ト云フ御意思ガアリマスルナラバ、斯様ナ國民ニ向テ重大ナル損害ヲ與ヘ、重大ナル影響ヲ與ヘル所ノ條項ハ、之ヲ命令ニ委任スベキモノデハ断ジテナカラウト思フノト云フモノヲ、本法ニ依テ統制スルダケノ御意思ガアルノデアルカ、ナイノデアルカ、斯ウ云フコトヲ承リタイノガ第四點デアリマス

最後ニ承リタイコトハ、本法ハ内地ニ於テ適用サル、コトハ言フマデモアリマセヌ、併ナガラ御承知ノ通リ、今日大連「マチヤント」ト言ハレマシテ、大連ノ爲替市場ト云フモノハ、投機ノ本源ニナッテ居ルノデアリマス、爲替ノ投機ガ大連ヲ元トシテ、上海ノ商人ト相提携ヲ致シテ、我國ノ爲替ヲ翻弄シテ居ルト云フ事實ハ、今日世界周知ノ事實デアリマス、幸ニ大連ノ在ル所ノ關東州ハ、我ガ政權ノ下ニ在リマス、故ニ本法ノ效果ヲ全カラシムル上ニ於テハ、之ヲ關東州竝ニ満鐵附屬地ニ施行スルト云フコトガ、最モ必要デナイカト私ハ思フノデアリマスルガ、大藏大臣ハ此點ニ向テ、如何ナル御考ヲ御持ニナッテ居ルカト單デアリマスルケレドモ、此五點ニ付テ御説明ヲ煩シマスルナラバ、洵ニ仕合セト存ジマス(拍手)

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 御答ヲ致シマス、第一ハ本法實施ニ付キ如何ナル效果ヲ期待スルカ、爲替ノ安定ヲ期待スルヤ、斯

ノ趣意ハ、現在ノ資本逃避防止法デハ、十分ニ其目的ヲ達シ得ナイ點ガアルノデ、完全ニ其防止ヲスル必要カラ起り、隨アサウ云

シテ居ルノデハアリマセヌ

居ルモノデアルカ、保険會社ト云ヒ、銀行ト

收支均衡如何ト云フコトニ付テ、種々心配

フ拔穴ガアルノヲ塞イデシマヘバ、自然ト其結果ハ矢張此爲替ノ安定ニ寄與スルコトニナルノデアリマスルカラシテ、唯完全ニ此爲替ヲ安定スルト云フコトハ、容易ノコトデヤナイ、此事ハ屢々聞ハレ、私モ屢々是マデ答ヘテ居ル、唯今日爲シ得ル所ハ、成ベク爲替ノ動搖ノ程度ヲ甚シカラシメザ

ト云フ御尋デアリマス、サウシテ英國ノ例モ御引キニナリマシタ、爲替平衡資金ト云フノベ、英吉利デヤフタコトデアリマス、アフタ、下ガルノヲ防グノデハナイ、上ルノヲ防グ、故ニ下ルト云フ傾向ノ時ニハ、殆ド英國政府ハ爲替相場ニ對シテハ放任シテ居ル、何等手ヲ入レナイ、サウシテ國內ノ經濟ヲ整理セントシテ居ル、今日ニ於テモ、矢張リ其方針ハ變ラズニ居ルヤウニ見受ケ

シテ、我國ノ正貨ガ六七億圓出タルト云フ苦金ヲ調達シテ見タ所ガ、此資金ガ缺乏シテイタラ、ドウスルノデス、殊ニ今日ノ時勢

ゲテ、單ニ邦貨ノ公債、社債ダケニシテ置ト云フ意味デ、私ハ申上ガタノデアリマス、勿論財政不均衡ノ爲ニ彼等モ——外國人モ、

ノ動クコトハ、是ハ日本ノ唯一國ノ力デハ出來ナイ仕事ナンデアル、其動搖ノ激騰激落ノナイヤウニ、變動ガアテモ、ソレガ小サナ範圍、狭イ範圍ニ止マルヤウニシタイト云フノガ希望デアリマス、一體最初カラ申シテ居ル通リ、一國ノ爲替相場ト云フモノハ、他國ニ對シテハ其國ノ生産力ニ基クノデアル、是ハ申スマデモナイ話、ダカラ長期間ニ於テハ、假令其國ガ金本位ヲ離脱シテ居リマシテモ、外國ニ對シテ輸出スルモノト、外國ヨリ輸入スルモノトノ權衡ガ得ラレテ、此支拂受入ニ於テ差ガナクナレバ、其時ノ爲替相場ノ定マルノガ、即チ是ガ自然ニ定マル所デアル、若シ幸ニシテ我國ガ外國ヨリ品物デ受取ル以外ニ、現金ノ値ハ下ルヤウニナルコトハ當然ナ話デアタナラバ、我國ノ今日ノ如ク兌換ヲ禁止シテ居ル紙幣ニ對シテ高クナルト云フコトヲ以テ受取ルト云フヤウナ立場ニナリマシテ居ル紙幣デアル所ノ紙幣ガ、却テ亞米利加ノ弗ニ對シテ高クナルト云フコトハ、是ハ當然サウ云フ結果ニナルノデアル、ソレ故ニ此法案ノ目的ハ、必ズ爲替相場ヲ安定スルト云フコトヲ、直接ノ目的ト

イタラ、我國ノ爲替相場ハ何處マデ下ルカ知レヌカラシテ、ソレヲ下ラナイヤウニ、矢張リ其方針ハ變ラズニ居ルヤウニ見受ケロト云フ御希望ハ、今日デハ此儘棄テ、置イタラ、我國ノ爲替相場ハ何處マデ下ルカ、ソレカラ第三ニハ、爲替下落ノ原因ニ付テ色々御説ガアリマシタ、私ハ此財政ノ歳度ヲ設ケタラ宜カラウト云フ御希望ノヤウデアリマス、而シテ政府ハ其意思ガアルヤト云フ御尋デアリマス、遺憾ナガラ政府ハ今日サウ云フヤウナ意思ハナイノデアリマス、而シテ其資金ニ於テ、今日我ガ外貨公債及債券類ヲ除イテ、法人ガ純然タル外國ノ公債、若クハ株券、社債等ヲ持テ居ル者ガアル、其金高ガ、凡ソ三四億モアル、之ヲ動員シテ、サウシテ此爲替平衡資金ニ用ヒタラスカ、或ハ又資本逃避ヲ防ぐ爲ニ、金ノ輸出禁止ヲセヌカト云フ懸念カラシテ、短期居ルカラ、一國ノ財政ノ收支ノ均衡が失ハレバ、或ハ其國ハ金貨本位ヲ離脱シハセリ、短期ノ資金ヤ何カマ五ニ入込ンデ入テソンナ亂華ナコトハ言ハナイ、外ノ國デハソレガアル、先刻質問者モ仰セニナツト通味ノ御答ハシマシタ、併シ何等關係ガナイ、

ト云フ御尋デアリマス、遺憾ナガラ政府ハ今日サウ云フヤウナ意思ハナイノデアリマス、而シテ其資金ニ於テ、今日我ガ外貨公債及債券類ヲ除イテ、法人ガ純然タル外國ノ公債、若クハ株券、社債等ヲ持テ居ル者ガアル、其金高ガ、凡ソ三四億モアル、之ヲ動員シテ、サウシテ此爲替平衡資金ニ用ヒタラスカ、或ハ又資本逃避ヲ防ぐ爲ニ、金ノ輸出禁止ヲセヌカト云フ懸念カラシテ、短期居ルカラ、一國ノ財政ノ收支ノ均衡が失ハレバ、或ハ其國ハ金貨本位ヲ離脱シハセリ、短期ノ資金ヤ何カマ五ニ入込ンデ入テソンナ亂華ナコトハ言ハナイ、外ノ國デハソレガアル、先刻質問者モ仰セニナツト通味ノ御答ハシマシタ、併シ何等關係ガナイ、

ト云フ御尋デアリマス、遺憾ナガラ政府ハ今日サウ云フヤウナ意思ハナイノデアリマス、而シテ其資金ニ於テ、今日我ガ外貨公債及債券類ヲ除イテ、法人ガ純然タル外國ノ公債、若クハ株券、社債等ヲ持テ居ル者ガアル、其金高ガ、凡ソ三四億モアル、之ヲ動員シテ、サウシテ此爲替平衡資金ニ用ヒタラスカ、或ハ又資本逃避ヲ防ぐ爲ニ、金ノ輸出禁止ヲセヌカト云フ懸念カラシテ、短期居ルカラ、一國ノ財政ノ收支ノ均衡が失ハレバ、或ハ其國ハ金貨本位ヲ離脱シハセリ、短期ノ資金ヤ何カマ五ニ入込ンデ入テソンナ亂華ナコトハ言ハナイ、外ノ國デハソレガアル、先刻質問者モ仰セニナツト通味ノ御答ハシマシタ、併シ何等關係ガナイ、

ト云フ御尋デアリマス、遺憾ナガラ政府ハ今日サウ云フヤウナ意思ハナイノデアリマス、而シテ其資金ニ於テ、今日我ガ外貨公債及債券類ヲ除イテ、法人ガ純然タル外國ノ公債、若クハ株券、社債等ヲ持テ居ル者ガアル、其金高ガ、凡ソ三四億モアル、之ヲ動員シテ、サウシテ此爲替平衡資金ニ用ヒタラスカ、或ハ又資本逃避ヲ防ぐ爲ニ、金ノ輸出禁止ヲセヌカト云フ懸念カラシテ、短期居ルカラ、一國ノ財政ノ收支ノ均衡が失ハレバ、或ハ其國ハ金貨本位ヲ離脱シハセリ、短期ノ資金ヤ何カマ五ニ入込ンデ入テソンナ亂華ナコトハ言ハナイ、外ノ國デハソレガアル、先刻質問者モ仰セニナツト通味ノ御答ハシマシタ、併シ何等關係ガナイ、

トニ努力シテ居ルノデアリマス

第四ハ、外國貿易ノ統制ヲドウスル、ドウ

ウ云フ程度ニ此法律ニ依ラテ貿易ノ統制ヲスルノカト云フ御尋テアル、豫テ申ス通

リ、出來ルダケ貿易上ニ於テハ自由ニ動カセ、輸出スル者モ、輸入スル者モ、成ベク

銘タノ營業上ノ算盤上ニ適フコトハ、自由ニ動カセタイト云フノガ、私ノ希望ナノデアル、ソレ故ニ必要ノナイ程度ニマズ、彼等ノ動キヲ拘束スル考ハ毛頭ナインデアル、成ベク彼等ノ動キニ、即チ輸出入貿易上ニ於テノ支障ニナルコトハ妨ギニナルコトハ致シタクナイト云フノガ元々ノ觀念デアリマス、併ナガラ前申ス通り、何レノ國デモ斯ウ云フ場合ニナッテ來マスト云フト、金ヲ持テ居ル人、資本ヲ持テ居ル人ハ、世界中一番安全ナ所ヘ其資本ヲ移シタイト

云フコトハ、是ハ人情デアル、ソレデ或ハ其移スノ付テハ、現金デ送ルノモアリ、爲替デ送ルノモアル、或ハ品物デ送ルノモアル、ソレヲサセタクハナイ、シテハナラ

ヌト云フノガ此法律ノ趣旨デアル、目的デアル、今ノ資本逃避防止法ダケデハ、殘念ナガラ十分ニ其處マデ徹底シテ行ク譯ニ行カナイカラシテ、今日提出シタ所ノ此管理

法ト云フモノニ依ラテ、イザト云フ場合ニハ、其時ニ適當ナ處置方速ニ執り得ラレル

ヤウニ、權能ヲ承認シ戴キタイト云フ精神デアルノデアリマス、實際是方行ハレル時ニ至テモ、今ノヤウナ狀況デアリマスレバ、殆ド實際ノ動キハ、今日ノ資本逃避

防止法ニ依ラテ決メラレタコト、殆ド變リハナイ、唯其中ニ罰則ヤ何カデ、省令等ニ依ラテ設ケラレタ取締ハ、罰ガ輕イ爲ニ一

向其效力ガナイト云フヤウナコトハ、矢起テ來ルカモ知レナイ、隨テ本法案ヲ提

張此法律ニ依ラテ罰ヲ重クスルト云フヤ

ウナ必要ガアリマシテ、サウ云フ所ノ

變化ハアリマス、併シ日々ノ變化ノ事デアリマスルカラ、餘所ノ國デドウ云フコトヲスルカ分ラヌ、先日來何處カデ私ハ言ヒ

マシタガ、今日ノヤウナ世界ノ有様デアリマシタナラバ、吾々ノ希望スル貿易ノ自由

ト云フコトニ反シテ、益、窮屈ニナッテ、或ハ物々交換ノ原理ニ戾シテ、貿易ヲ管理

シナケレバナラヌト云フヤウナコトニナラヌトモ限ラヌ、ドウ云フ風ニ動イテ來マスカ、獨リ日本バカリデハナイ、各國共ニ之ニ付テハ大イニ苦心ヲシテ、此打開ノ策ヲ

考究シテ居ルガ、其見透シガ今以テ付カヌ

ニ付テハ大イニ苦心ヲシテ、此打開ノ策ヲ

モ亦ソレニ對スル相當ノ對抗ノ處分ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ必要ガ起ラヌ

トモ限ラヌ、其場合ニ於テ、或ハ臨時ニ議會ヲ召集シテ協賛ヲ經テ之ヲ行フト云フヤウニ、サウ云フ時間ヲ與ヘラレナイ時ガ往々生ズルノデアラウ、如何ナル事ガ生ジテモ、サウ云フ場合ニ於テ違算ナキコトヲ期シテ此法案ヲ出シタノデアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイ(拍手)

○ 議長(秋田清君) 中島彌團次君
(中島彌團次君登壇)
○ 中島彌團次君爲替管理法案が提出サレマシテ、只今高橋大藏大臣カラ提案ノ理由ニ付テ承リマシタガ、今申サレマシタ所ニ依リマスルト云フト、金ノ輸出再禁止以來爲替ガ暴落致シテ、二十弔内ニナッタ、サシテハ完全ニ一致シテ居ルト云フコトヲシマシタノハ、即チ殆ド此一點ニ於キマシテ政友會モ民政黨モ、此内閣ヲ擁護致シテハ我黨ノ政策ト其符節ヲ合シタ如キ現狀ニ云フ文句ヲ附加ヘルニ至リマシタノハ、全ク我黨ノ政策ト其符節ヲ合シタ如キ現狀ニナルノデアリマス(拍手)斯ウ云フヤウニ考ヘテ參リマスルト云フト爲替ノコトニ付キマシテ、政友會モ民政黨モ、此内閣ヲ擁護致シテハ我黨ガ圓ノ實力ニ——所謂實勢ニ副ウテ居ナイ、又將來ドウ云フコトハ勢ニ副ウテ居ナイ、即チ我黨ガ今日マデ一箇年間闘テ來マシテ、世論ヲ喚起シ、即チ國論ノ結果ガ茲明デアリマス、然レドモ出動ノ時機ヲ誤フ

出致シテ實勢ニ戻スト共ニ、將來ノ非常ナ

場合ニ對スル出動ノ準備ヲシタイ、即チ下

ガルノラ止メタイト云フヤウニ承リマシタ

アリマスルカラ、果シテ左様ニ解釋シテ

云フコトニ反シテ、益、窮屈ニナッテ、或

ハ私共ト致シマント云フヤウナモノニアリマス、高橋大藏大臣ニ於キマシテモ、亦申サレマ

ガ茲ニ提出サレマシタコトニ付キマシテ

シナケレバナラバ、吾々ノ希望スル貿易ノ自由

ト云フコトニ反シテ、益、窮屈ニナッテ、或

ハ物々交換ノ原理ニ戾シテ、貿易ヲ管理

シナケレバナラヌト云フヤウナコトニナラ

ヌトモ限ラヌ、ドウ云フ風ニ動イテ來マスカ、獨リ日本バカリデハナイ、各國共ニ之ニ付テハ大イニ苦心ヲシテ、此打開ノ策ヲ

モ亦ソレニ對スル相當ノ對抗ノ處分ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ必要ガ起ラヌ

トモ限ラヌ、其場合ニ於テ、或ハ臨時ニ議會ヲ召集シテ協賛ヲ經テ之ヲ行フト云フヤウニ、サウ云フ時間ヲ與ヘラレナイ時ガ往々生ズルノデアラウ、如何ナル事ガ生ジテモ、サウ云フ場合ニ於テ違算ナキコトヲ期シテ此法案ヲ出シタノデアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイ(拍手)

○ 中島彌團次君爲替管理法案が提出サレマシテ、只今高橋大藏大臣カラ提案ノ理由ニ付テ承リマシタガ、今申サレマシタ所ニ依リマスルト云フト、金ノ輸出再禁止以來爲替ガ暴落致シテ、二十弔内ニナッタ、サシテハ完全ニ一致シテ居ルト云フコトヲシマシタノハ、即チ殆ド此一點ニ於キマシテ政友會モ民政黨モ、此内閣ヲ擁護致シテハ我黨ガ圓ノ實力ニ——所謂實勢ニ副ウテ居ナイ、又將來ドウ云フコトハ勢ニ副ウテ居ナイ、即チ我黨ガ今日マデ一箇年間闘テ來マシテ、世論ヲ喚起シ、即チ國論ノ結果ガ茲明デアリマス、然レドモ出動ノ時機ヲ誤フ

タナラバ、朝ニタヲ測ルベカラザル爲替相場ノ今日ノ變動ノ状態カラ考へマシタナラバ、大變之ヲ暴落セシメテ、一タビ二十弗ヲ又二十弗以上ニ上ゲルト云フコトハ容易ノコトデハナイ、ソコデータビ出勤ノ時機ヲ誤ルカ誤ラヌカト云フコトハ、是ハ非常ナ法ノ運用ヲ致シマス點ニ付キマシテハ、重大ナル點デアリマシテ、後ニ述ベマスルガ、私共ノ考、及ビ調査研究致シマシタ所ニ依リマスト云フト、資本逃避防止法ニ付キマシテモ、幾分其出勤ノ時機ヲ誤ラタガ爲ニ、二十弗ニマデ落シテ居ルコトガアリマス、完全ニ資本逃避防止法ト云フモノヲ、旨ク運用シテ居タナラバ——色々ナ原因カラ爲替暴落ヲ來シタコトモアリマセウケレドモ、二十弗マデ落サナクトモ濟ンデソコデ私共ノ間ヒタイ所ハ、本法案ニ付キマシテ極ク具體的ニ——要スルニ本法案ト云フモノハ、武田君ノ言ハレマシタ爲替平衛資金ノ問題、金ガナイカラ日本ノ國ハ出來マセヌ、在外正貨デモノニ對シテ動員ガ出來ルヤウナ金ヲ澤山持テ居レバ、コンナ法案ハ要ラナイ、其金デ爲替ノ調節ハ出來ルガ、今日ハ在外正貨モナケレバ、高橋大藏大臣モ今言ハレマシタヤウナ工合ニ、動員スルベキ所ノ金モナイ、又セラレタラ困ル、殊ニ輸出資金ト云フモノニ對シテ動員ヲスルナラバ——輸出資金ヲ外國「ビル」ニ動員スレバ、手許不便ニナッテ來マスカラ爲替ガ却テ下リマス、サウシテ其資金ヲ以テ爲替ヲ引上ゲレバ、之ハ元ノ「プラス、

マイナス、ゼロ」ニナッテ參リマス、斯ウ云フコトカラ考へマシタナラバ、爲替平衡資下リ、十弗ニ下リ、若クハ五弗トナル、之ヲ又二十弗以上ニ上ゲルト云フコトハ容易ノコトデハナイ、ソコデータビ出勤ノ時機ヲ誤ルカ誤ラヌカト云フコトハ、是ハ非常ナ法ノ運用ヲ致シマス點ニ付キマシテハ、重大ナル點デアリマシテ、後ニ述ベマスルガ、私共ノ考、及ビ調査研究致シマシタ所ニ依リマスト云フト、資本逃避防止法ニ付キマシテモ、幾分其出勤ノ時機ヲ誤ラタガ爲ニ、二十弗ニマデ落シテ居ルコトガアリマス、完全ニ資本逃避防止法ト云フモノヲ、旨ク運用シテ居タナラバ——色々ナ原因カラ爲替暴落ヲ來シタコトモアリマセウケレドモ、二十弗マデ落サナクトモ濟ンデソコデ本法案ハ、非常ニ廣汎ナル範囲ニ於テ大藏大臣ガ權限ヲ握テ居リマス、譬ヘテ申上ゲマスナラバ、本法案ノ重點ガ何處ニアルカト申上ゲマスナラバ、第一爲替ノ集中主義ヲ執テ居ル、自由賣買ヲ禁止シテ、日本銀行其他ニ爲替ノ集中主義ヲ執ルト云フコトハ、本法案ノ是ガ第一ノ要點デアルト云フコトヲ私ハ痛感致シマス、第二ハ爲替ノ取得及處分、之ヲ取締リ制限セントシテ居ル、即チ不必要ナル先物及思惑ノアルト云フコトヲ私ハ痛感致シマス、第三ガ荷爲替ノ取締デアリマス、第四ハ爲替相場ノ取締デアリマス、第五ハ爲替ノ制限シヨウトシテ居ル、是ガ第一條ニアリマスルガ、第三ガ荷爲替ノ取締デアリマス、第六ガ内地居住者ニ對スル信用此法案デハ豫想シテ居ル、第五ハ遠爲替ノ取締、資本逃避防止法ニハナカタノデ無カタガ、茲ニ於テ新ニ設ケマス、更ニ第七ノ點ニ於テハ、證券ノ輸出ヲ取締シテ居

トハ出來ナイト考ヘル、併ナガラドンナコトガアツテモ、爲替ヲ元ニ引上ゲナケレバナラヌ、爲替ノ下ガルコトヲ防ガナケレバナラヌト云フ時ニハ、ソレハ非常時ノ場合ニハ、是ハ爲替平衡資金制度亦已ムヲ得ナイ時機ガ來ルカモ知レナイ、今日ノ場合デハ、時機ガ來ルカモ知レナイ、今日ノ場合デハ、アラウト私ハ信ジマス

ソコデ本法案ハ、非常ニ廣汎ナル範囲ニ於テ大藏大臣ガ權限ヲ握テ居リマス、譬ヘテ申上ゲマスナラバ、本法案ノ重點ガ何處ニアルカト申上ゲマスナラバ、第一爲替ノ集中主義ヲ執テ居ル、自由賣買ヲ禁止シテ、日本銀行其他ニ爲替ノ集中主義ヲ執ルト云フコトハ、本法案ノ是ガ第一ノ要點デアルト云フコトヲ私ハ痛感致シマス、第二ハ爲替ノ取得及處分、之ヲ取締リ制限セントシテ居ル、即チ不必要ナル先物及思惑ノアルト云フコトヲ私ハ痛感致シマス、第三ガ荷爲替ノ取締デアリマス、第四ハ爲替相場ノ取締デアリマス、第五ハ爲替ノ制限シヨウトシテ居ル、是ガ第一條ニアリマスルガ、第三ガ荷爲替ノ取締デアリマス、第六ガ内地居住者ニ對スル信用此法案デハ豫想シテ居ル、第五ハ遠爲替ノ取締、資本逃避防止法ニハナカタノデ無カタガ、茲ニ於テ新ニ設ケマス、更ニ第七ノ點ニ於テハ、證券ノ輸出ヲ取締シテ居

トハ出來ナイト考ヘル、併ナガラドンナコトガアツテモ、爲替ヲ元ニ引上ゲナケレバナラヌト云フ時ニハ、ソレハ非常時ノ場合ニハ、是ハ爲替平衡資金制度亦已ムヲ得ナイ時機ガ來ルカモ知レナイ、今日ノ場合デハ、アラウト私ハ信ジマス

ソコデ本法案ハ、非常ニ廣汎ナル範囲ニ於テ大藏大臣ガ權限ヲ握テ居リマス、譬ヘテ申上ゲマスナラバ、本法案ノ重點ガ何處ニアルカト申上ゲマスナラバ、第一爲替ノ集中主義ヲ執テ居ル、自由賣買ヲ禁止シテ、日本銀行其他ニ爲替ノ集中主義ヲ執ルト云フコトハ、本法案ノ是ガ第一ノ要點デアルト云フコトヲ私ハ痛感致シマス、第二ハ爲替ノ取得及處分、之ヲ取締リ制限セントシテ居ル、即チ不必要ナル先物及思惑ノアルト云フコトヲ私ハ痛感致シマス、第三ガ荷爲替ノ取締デアリマス、第四ハ爲替相場ノ取締デアリマス、第五ハ爲替ノ制限シヨウトシテ居ル、是ガ第一條ニアリマスルガ、第三ガ荷爲替ノ取締デアリマス、第六ガ内地居住者ニ對スル信用此法案デハ豫想シテ居ル、第五ハ遠爲替ノ取締、資本逃避防止法ニハナカタノデ無カタガ、茲ニ於テ新ニ設ケマス、更ニ第七ノ點ニ於テハ、證券ノ輸出ヲ取締シテ居

トハ出來ナイト考ヘル、併ナガラドンナコトガアツテモ、爲替ヲ元ニ引上ゲナケレバナラヌト云フ時ニハ、ソレハ非常時ノ場合ニハ、是ハ爲替平衡資金制度亦已ムヲ得ナイ時機ガ來ルカモ知レナイ、今日ノ場合デハ、アラウト私ハ信ジマス

ソコデ本法案ハ、非常ニ廣汎ナル範囲ニ於テ大藏大臣ガ權限ヲ握テ居リマス、譬ヘテ申上ゲマスナラバ、本法案ノ重點ガ何處ニアルカト申上ゲマスナラバ、第一爲替ノ集中主義ヲ執テ居ル、自由賣買ヲ禁止シテ、日本銀行其他ニ爲替ノ集中主義ヲ執ルト云フコトハ、本法案ノ是ガ第一ノ要點デアルト云フコトヲ私ハ痛感致シマス、第二ハ爲替ノ取得及處分、之ヲ取締リ制限セントシテ居ル、即チ不必要ナル先物及思惑ノアルト云フコトヲ私ハ痛感致シマス、第三ガ荷爲替ノ取締デアリマス、第四ハ爲替相場ノ取締デアリマス、第五ハ爲替ノ制限シヨウトシテ居ル、是ガ第一條ニアリマスルガ、第三ガ荷爲替ノ取締デアリマス、第六ガ内地居住者ニ對スル信用此法案デハ豫想シテ居ル、第五ハ遠爲替ノ取締、資本逃避防止法ニハナカタノデ無カタガ、茲ニ於テ新ニ設ケマス、更ニ第七ノ點ニ於テハ、證券ノ輸出ヲ取締シテ居

致シマスガ、併ナガラ私共ノ考カラ致シマ
シテハ、今日ノ外交狀態、今日ノ經濟狀態
ヲ考ヘマシタナラバ、必ズヤ此點ニ付キマ
シテ、今直チニ實行スルト云フコトガ、最
モ策ノ得タルモノデアルト云フコトヲ信ズ
ル者デアリマス(拍手)

第二ノ點ニ付キマシテハ、第一條ノ一デ
アリマス、即チ外國為替ノ取得又ハ處分ト
ナブテ居リマスルガ、多分此條項ノ中ニ含マ
レテ居リマス、即チ外國為替ノ取得又ハ處分ト
引ノ制限若クハ取締ト云フコト、為替ノ思
惑ト云フコトヲ、此點ニ於テ制限シ若クハ
取締フントシテ居ルモノト私ハ考ヘマス、
是モ直チニ御實行ナヌ、タ方ガ宜シト考
ヘルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ、
高橋大藏大臣ノ御所見ハ如何デアリマセウ
カ、昨年九月以來為替ガ二十弗ニ落込ミマシ
タコトニ付キマシテハ、為替相場ノ所謂實際
上ノ需要供給ト云フ範圍外ニ於キマシテ、
不必要ニ綿ノ買付ノ如キハ、殆ド一箇年ニ
瓦ルマデノ——短イモノハ三箇月、甚シキ
ハ一箇年若クハ十箇月ト云フヤウナ先物ノ
取引ヲシタガ爲ニ、為替ガ二十弗ニ落込ン
デ參タノデアリマス、更ニ「インター・バンク」
即チ銀行間ノ取引ニ於テ、非常ニ為替相場
ノ思惑ヲヤリマシケガ爲ニ、又下落サシメ
マシタ點ガアリマス

(議長退席、副議長著席)

是等ノ點ハ直チニ取締ル必要ガアルト思
マスルガ、此法案ガ貴衆兩院ヲ通リマシテ
實施セラレマシタ時ニ於キマシテハ、是ハ
直チニ私共ハ實施スペキデアルト考ヘマス
リマセウカ

質問シマシタコトニ依リマシテ、此無爲替
ト云フコトヲ初メテ政府ガ氣ガ付イテ、無
爲替ト云フモノニ依フテ、資本逃避ガ行ハ
レルト云フコトヲ發見セラレタヤウナ次第
デアッテ、調査シテ見タ所ガ、政府ハ今日
マデ無爲替ハナイト云フコトヲ斷言セラレ
テ居リマスルケレドモ、私共ガ調査シマシ
タ所ニ依リマスト、昨年九月カラ十二月マ
デニ掛ケマシテ、無爲替ト云フモノガ、非
常ナ勢ヲ以テ行ハレ、資本逃避ヲシ出シタ
ト云フコトハ、是レ天下公知ノ事實デアッ
テ、恐ラク貿易及無爲替ニ關係シテ居ル人
人デ、此點ニ付テ知ラナイ人ハ一人モナイ、而シ
テ下ル傾向ヲ持テ來マシタナラバ、直チニ
此無爲替ハ出テ參リマス、其無爲替ガ一時
ハ臨時的無爲替デアリマシタガ、最近ハ經
常的無爲替ニナツテ參リマシテ、例ヘバ百万
圓ノ生絲ヲ亞米利加ニ輸出シタド致シマシ
テモ、二十萬圓、二割ダケヲ向フニ置イテ、
モニ割ヅ、ズツト繼續シテ置イテ置キマシ
テ、是ガ甚シイ時ニハ爲替市場ニ對シテ、
直チニ私共ハ實施スペキデアルト考ヘマス
ルガ、大藏大臣ハ如何ニ御考ニナルノデア
リマセウカ

ソレカラ第四點ト致シマシテハ、武田
君カラ御質問ガアリマシタカラ、私ハ詳ク
ハ申上ダマセヌ、即チ此法律ヲ讀ンデ見マ
スルト、爲替ヲ通ジテ貿易管理ヲ行ハレル
ヤウナ法文ニナツテ居ルノデアリマスガ、果
シテ其積リデアルカ否ヤ、又ハソレデナイ
トシタナラバ、單行法律デ外國デハ貿易管
理ヲ行フテ居リマスガ、貿易管理ヲ行ハナ
ケレバナラナイヤウナ時ガ來タ場合ニ於テ
カト云フコトダケヲ、私ハ承フテ置ケバ宜
シイ

ソレカラ第五點ト致シマシテ私ノ質問致シ
タイ點ハ、現行資本逃避防止法ハ、僅ニ昨年
作ラレマシテ一年以上經テ居ナイ、其實施
ノ狀況ヲ見マスルニ、帳簿ヲ檢查シタリ、
帳簿ヲ取フタリ、若クハ報告ヲ取フタダケデ
テモ、此爲替管理制度案ニ於キマシテモ、非
常ナ用意周到ナ注意ヲ以テ、其資本ノ逃避
ト云フコトヲ防イデ居ラレルノデアリマス
ケレドモ、茲ニ一大缺陷ヲ私ハ發見スル
ノデアリマス、ソレハ爲替思惑及資本逃避
ノ目的ヲ有フタ所ノ資金ニ對スル貸付ノ取
締及制限ヲ、政府ハ何故ニ漏シシテ居ルノデ
アルカ、是ガ民間ニ於テモ重大ナル問題ト
ナツテ居リマシテ、某貿易會社ガアッテ、某
銀行ガアリマス、資金ハ自由自在ニナツテ
居リマス、金ノ貸手ガアルカラ、資本ヲ逃避
スル人ガアルノデアリマス、金ノ貸手ガア
ルカラ、爲替ノ思惑ヲヤル人ガアルノデアリ
マス、此根本ヲ取締リマシタナラバ、私ハ

研究シテ參フタノダカラ、是程眞實ナコトハ
ナイト確信シテ參リマシタ、此無爲替ニ付
キマシテモ、直チニ是ハ實施スベキモノダ
キマシテハ、是ハ禁止シテ居ナイ、第六十
三議會ニ於キマシテ、我黨ノ田中博士カラ
質問シマシタコトニ依リマシテ、此無爲替
ト云フコトヲ初メテ政府ガ氣ガ付イテ、無
爲替ト云フモノニ依フテ、資本逃避ガ行ハ
レルト云フコトヲ發見セラレタヤウナ次第
デアッテ、調査シテ見タ所ガ、政府ハ今日
マデ無爲替ハナイト云フコトヲ斷言セラレ
テ居リマスルケレドモ、私共ガ調査シマシ
タ所ニ依リマスト、昨年九月カラ十二月マ
デニ掛ケマシテ、無爲替ト云フモノガ、非
常ナ勢ヲ以テ行ハレ、資本逃避ヲシ出シタ
ト云フコトハ、是レ天下公知ノ事實デアッ
テ、恐ラク貿易及無爲替ニ關係シテ居ル人
人デ、此點ニ付テ知ラナイ人ハ一人モナイ、而シ
テ下ル傾向ヲ持テ來マシタナラバ、直チニ
此無爲替ハ出テ參リマス、其無爲替ガ一時
ハ臨時的無爲替デアリマシタガ、最近ハ經
常的無爲替ニナツテ參リマシテ、例ヘバ百万
圓ノ生絲ヲ亞米利加ニ輸出シタド致シマシ
テモ、二十萬圓、二割ダケヲ向フニ置イテ、
モニ割ヅ、ズツト繼續シテ置イテ置キマシ
テ、是ガ甚シイ時ニハ爲替市場ニ對シテ、
直チニ私共ハ實施スペキデアルト考ヘマス
ルガ、大藏大臣ハ如何ニ御考ニナルノデア
リマセウカ

資本逃避モ爲替ノ思惑モ、共ニ是ガ止り易
イモノデアルト考ヘル、換言スレバ、爲替
思惑ノ取締ト資本逃避ノ拔本塞源ノ方法ヲ
講ズルコトガ、今日爲替相場ノ低落ヲ防ギ、
爲替ノ實勢力ヲ元ニ戻ス私ハ根本問題デ
アルト思フノデアリマス、之ニ付キマシテ
ハ銀行若クハ會社ニ對シテ検査ヲセナケレ
バイカヌトカ、或ハ煩雜デアルカラムヅカ
シトイカ、資本ガ如何ナル用途ニ向テ使ハ
レテ居ルカ不明デアルトカ云フヤウニ、反
對論者モアリマスケレドモ、是ハ帳簿ヲ檢
査シ、資本ノ行方ヲ調查致シマシタナラバ、
君カラ御質問ガアリマシタカラ、私ハ詳ク
ハ申上ダマセヌ、即チ此法律ヲ讀ンデ見マ
スルト、爲替ヲ通ジテ貿易管理ヲ行ハレル
ヤウナ法文ニナツテ居ルノデアリマスガ、果
シテ其積リデアルカ否ヤ、又ハソレデナイ
トシタナラバ、單行法律デ外國デハ貿易管
理ヲ行フテ居リマスガ、貿易管理ヲ行ハナ
ケレバナラナイヤウナ時ガ來タ場合ニ於テ
カト云フコトダケヲ、私ハ承フテ置ケバ宜
シイ

シ、組織ヲモウ少シ大キナモノニシナケレバ、現行法ガ十分ニ取締ガ出来ナイト同様ニ、此爲替管理办法案モ亦將來一片ノ空文ナルノデナイカト云フコトヲ、私共ハ心配シテ居ル一人デアルノデアリマス。以上ノ點ニ付キマシテ高橋大藏大臣ヨリ明快ナル御答辯ヲ得マシタナラバ、洵ニ幸福ニ感ズル次第アリマス、私ノ質問ノ要旨ハ此處ニ書イテ置キマシタカラ、高橋大藏大臣ガ之ヲ御讀ミ下サレマシテ、御答辯下サレマシタナラバ洵ニ結構デアリマス(拍手)

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 簡單ニ御答ヲ致シマス、第一ハ本法案ニ基ク権限施行ノ程度及範圍ハドウダト云フ、御尋デアリマスガ、是其時ノ必要ニ應スルモノニシテ、豫メ此處デ明言スベキモノデハアリマセヌ

第二ハ爲替重心主義、是ハ直チニ實行シタラドウダ、現狀ニ於テ直チニ實行スル必要ハマダナカラウト思テ居リマス

第三ハ先物取締ノ制限ヲ直チニ實行スルカト云フ御問デアリマスルガ、今此處デ明言ヲスルコトハ出來マセヌ、マダ其必要ヲソレ程ニハ感ジテ居リマセヌ

ソレカラ第四ハ、無爲替ノ取締、是ハ無爲替ハ絶對ニナイトハ私ハ言タコトハナイ、併シ非常ナ巨額ナモノガ無爲替デ行テ居ルト云フコトヲ承リマシタカラシテ、詳細ニ實際ニ付テ取調ヲサセマシタケレドモ、其實際ハ質問者ノ言ハレルガ如キ、巨額ナ無爲替ハ行ハレテ居ラナイノデアリマス

第五ハ、貿易管理ヲ行フ時ニ、本法ニ依ルカ又ハ單行法律ヲ出スノカト云フ御尋デアリマス、大體本法ニ依テ取締ルコトガ出来ルヤウニ大體出來テ居リマス、而シテ本法ニ依テ爲シ得ルモノハ本法ニ依ルノデアリマシテ、其以外必要ガ起テ本法ニ據リ難キモノハ、其時ニ又單行法律ヲ出スト云フヤウナコトニナリマス。

第六ハ、思惑ヲ行フ資金ノ貸付ヲ取締ル意思ガナカト、資金ノ貸借ヲ行フニ當リマシテ、是ハ思惑ヲヤル金ダト言フテ名乗テ出ル者ハ一人モナイノデス、是ハ實行困難、斯様ナコトヲシナクトモ、此爲替管理办法ニ依テ、時々必要ナ手段ヲ採テ參リマスレバ、今ノ御心配ニナルヤウナコトハ餘りナクシテ濟ムト考ヘテ居リマス、是ダケ御答致シマス。

(中島彌團次君登壇)

○中島彌團次君 只今私ノ質問致シマシタ點ニ付キマシテ、高橋大藏大臣カラ御答ニナリマシタガ、私共甚ダ不満足ニ感ズル次第アリマス、何トナラバ、是ダケ廣汎ナル權限ヲ政府ニ與ヘタ所ノ法律案ヲ出シテ置キナガラ、ドレダケノ範圍内ニ於テ今日是ガ出動ヲスルノデアルカ否ヤト云フ點ニ付キマシテ、何等ノ御示シガナイト云フコトガ、是レ即チ財界ニ向テ最モ不安ヲ與付キマシテ、即チ銀行ノ検査、資本逃避防止ノ目的ヲ持チナガラ、資本逃避防止法ヲ實行スル所ノ點カラ考ヘマシテ、チトモ検査シテ居ルト云フコトヲ私共ハ聞カナイ、苟モ法ガアレバ法ヲ守ル所ノ手段方法ヲ講ズルト云フコトハ、私ハ當然ノ責任デナケレバナラヌト考ヘル、此點カラ考ヘマシテ総計ヲ取ルダケガ政府ノ能デハナイ、総計以外ニ遡リテ、即チ銀行ノ検査、資本逃避防止ノ目的カラ検査スルト云フコトナラバ、直チニ検査スレバ、直チニソコデ資本ガ逃避シテ居ルカ居ナイカ、ドノ御客ガドウ云フヤウナ取引ヲシテ居ルカト云フコトガ、直チニ私ハ明ニナルト考ヘル、此點ニ付テ——何故ニヤラナカタカト云フ點ニ付キマシテ、高橋大藏大臣ニ私ハ再質問スル所以デアリマス(拍手)

○國務大臣(高橋是清君) 思惑取引ト云フコトハ、是ハ無論取締ルノデアリマス、ソレカラ其他ハモウ御答スル必要ハナインデアリマス、唯先刻ノ御答ノ中ニ思惑ト云フコトガ漏レマシタカラ、ソレダケ補足シテ置キマス(拍手)

(國務大臣高橋是清君登壇)

○野中徹也君 私ガ問ハント致シマスルコトハ多々アリマス、又此法案ノ根本趣旨ニ關スル事柄ニ付キマシテ、政府ノ所見ヲ聽キタイト思ヒマスル點ハ多々アリマスルガ、是等ノ問題ハ、要スルニ吾々ノ主張ハ吾々ノ主義ニ依テ判断セラルベキ問題デアリマスマトイ、故ニ私ハ本旨ハ此根本的問題ニ付キマシテノ質疑ハ止メマス、又同

時ニ私ガ聞カント致シマスル事ニ於キマシテ、既ニ中島君ヨリ聞カレマシタコトモアルシ、或ハ武田君ヨリ聞カレマシタルコトモアリマスカラ、サウ云フ重複スル問題ニ關シテハ今日申上ダマセヌ、唯極メテ簡単ニ三ツノ點ニ付キマシテ、細カイ問題デハアリマスルガ、其問題ニ對スル政府ノ答辯ヲ求メタイト考ヘマス

一つハ、高橋大藏大臣ハ此爲替管理制度ノ目的ハ、爲替ノ安定ニ非ズシテ、資本逃避ノ取締ニアルト云フコトヲ言テ居リマスルガ、私ハ今日ハ根本論ヲ言フノデアリマセヌ、條文上ニ現ハレタ所ニ依リマスレバ、即チ從來ノ資本逃避防止法ニ依リマシテモ、取締ガ十分出來タノデハナカラウカ、然ルニ其取締ヲスルト云フコトノ目的ニ非ズシテ、爲替ノ安定ヲ希望スルガ故ニ、特ニ第一條ノ第五號、或ハ第七號、第九號、第十號ト云フヤウナ規定ヲ設ケタノデハナカラウカ、此事實的證明ニ依テ見ルナラバ、大藏大臣ノ説明ハ資本逃避ノ取締デアルカノ如キ然ト致シマシテ、爲替ノ安定ヲ期待スルモノデアラウト私ハ信ズルノデアリマス、故ニ重不テ此問題ニ對シマシテ、果シテ大藏當局ハ爲替管理ノ真個ノ目的ハ、爲替安定ニアリヤ否ヤト云フ點ニ付キマシテノ御答辯ヲ求メタイト考ヘマス

更ニ此法案ノ内容ヲ審査致シテ見マスレバ、洵ニ大資本家ニ便宜ヲ與ヘマシテ、所謂小資本家ニ對シマスル所ノ便宜ヲ與ヘルコトヲ缺ク點ヲ見出スノデアリマス、ソレハ即チ第一條ノ第七號ニアリマス「信用狀ノ發行又ハ取得」ト云フコトデアリマス

斯、此外國貿易ガ信用狀ニ依リマシテ取引セラレマスコトハ、皆様ノ御承知ノ通りデアル、信用狀ナシニヤラレマスルヤウナ取引ハ、大體ハ大資本家ニ依テノミ行ハレルコトデアリマス、然ルニ此法律ニ依リマシテ、信用狀ノ發行又ハ取得ト云フコトヲ政府ノ管理ニ委ネルナラバ、其信用狀ヲ取得スルニ當フテ相當ノ時間ヲ要スルデアリマセウ、或ハ正金銀行、或ハ日本銀行、更ニ大藏當局ノ認可ヲ得ルニ至リマスルナラバ、其時間ハ可ナリ掛ルト見ナケレバナラヌ、殊ニ今日ニ於キマシテ色々ナ仕事ノ上カラ見マシテモ、官僚ノ間ニ於キマスル事務滞滯ハ、吾々ガ幾度力苦イ經險ヲ嘗メテ居ル通リデアル、ソレデアリマスカラ、私共ハ若シモ此信用狀ノ發行又ハ取得ト云フノガ、如何ナル所ニ於キマシテ是ガ許可、或ハ認可ノ方式ガ取ラレルカドウカハ分リマセヌガ、若シモ信用狀ヲ發行スルニ當リマシテ、非常常ノ時間ヲ要スルナラバ、要スルニ輸出入ニ對シテハ、大資本家、即チ信用狀ナクシテモ輸入シ得ルヤウナ大資本家ノミヲ擁護スルモノニシテ、事實商賣ノ都合上カラ見テ、直チニ輸入シナケレバナラヌト云フヤウニ考ヘテ居ル所ノ小資本家ヲ遂行ヲ期スルヤウニナラナケレバ、眞ニ此案ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイコトデア

ロ是ハ日滿兩國ノ間ニ此爲替管理制度ノ問題デ協議ヲ致シマシテ、而シテ此案ノ徹底的付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス。○副議長(植原悅二郎君) 是ニテ質疑ハ終了ノ所ハマダ其考ハアリマセヌ

○上田孝吉君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(植原悅二郎君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○副議長(植原悅二郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ
○上田孝吉君 残餘ノ日程ヲ延期シ、本日は是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(植原悅二郎君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○國務大臣(高橋是清君) 第一ハ本法案ハ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(植原悦二郎君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ハ可決セラレマシタ、次
會ノ日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日
ハ是ニテ散會致シマス

午後六時二十三分散會

衆議院議事速記録第十三號中正誤

頁段行誤 正
二〇三 四五短期市ニ
二〇四 四七政府財政 短期市場ニ
二〇五 一アル云フコト 行政財政
トハ アルト云フコ

